

# 令和3年度 事業報告書

公益財団法人 大阪府文化財センター

# 事業報告書目次

I 一般庶務	1
II 埋蔵文化財調査事業	2
III 文化財資料活用事業	5
IV 大阪府立弥生文化博物館事業	11
V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業	23
VI 泉佐野市立歴史館いずみさの事業	37
VII 日本民家集落博物館事業	47

# 令和3年度 事業報告

## I. 一般庶務

### 1. 理事会及び評議員会開催状況

令和3年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。

年 月 日	会議名称	場 所	議 案
令和3年4月1日	第1回理事会	書面表決	1. 業務執行理事の選定について
令和3年6月9日	第2回理事会	大阪府立 弥生文化博物館 1階ホール	1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 令和2年度 事業報告及び収支決算について 3. 定時評議員会の招集事項について
令和3年6月30日	定時評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 令和2年度 事業報告及び収支決算について 3. 理事の選任について 4. 監事の選任について 5. 評議員の選任について
令和3年6月30日	第3回理事会	書面表決	1. 代表理事の選定について 2. 業務執行理事の選定について
令和3年11月11日	第4回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 令和3年度 事業進捗について 3. 令和3年度 補正予算について
令和4年3月24日	第5回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 令和3年度 第二次補正予算について 3. 令和4年度 事業計画及び予算案について 4. 次期中期経営計画(令和4年度～令和8年度)の報告

### 2. 役員・評議員の異動状況

年 月 日	就	任	退	任
令和3年4月1日	専務理事	岡本茂史 (新任)		
令和3年6月30日	理 事	坂井秀弥 (重任)		
令和3年6月30日	理 事	岡本茂史 (重任)		
令和3年6月30日	理 事	秋山芳廣 (重任)		
令和3年6月30日	理 事	網 伸也 (重任)		
令和3年6月30日	理 事	瀬垣田佳男 (重任)		
令和3年6月30日	監 事	鳴澤成泰 (重任)		
令和3年6月30日	評議員	白石太一郎 (重任)		
令和3年6月30日	評議員	西野裕久 (重任)		
令和3年6月30日	評議員	福田英人 (新任)		
令和3年6月30日	評議員	本中 眞 (新任)		
令和3年6月30日	評議員	吉田憲司 (重任)		
令和3年6月30日	理事長	坂井秀弥 (重任)		
令和3年6月30日	専務理事	岡本茂史 (重任)		

## II. 埋蔵文化財調査事業

### 1. 調査事業

文化財の保存・活用を目的として、埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理等を下記の通り実施した。

#### (1) 大阪府域

- ① 西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪東事務所が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線（八幡～高槻）建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
船橋遺跡 〔報告書印刷〕	1,056,000	0	枚方市

- ② 西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪西事務所が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線（八幡～高槻）建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
上牧遺跡 〔整理〕	10,417,000	0	高槻市
成合地区 〔試掘・確認〕	5,420,000	321	高槻市
梶原南遺跡(1・2) 〔整理〕	20,105,000	0	高槻市
梶原南遺跡(3) 〔調査〕	12,561,000	1,848	高槻市
梶原古墳群 〔調査〕	7,354,000	1,590	高槻市
金龍寺旧境内跡(1) 〔調査〕	27,023,000	6,003	高槻市
金龍寺旧境内跡(2) 〔調査〕	11,633,000	2,102	高槻市
金龍寺旧境内跡(1) 〔整理〕	6,160,000	0	高槻市
金龍寺旧境内跡(2) 〔整理〕	4,001,000	0	高槻市

- ③ 大阪府都市整備部 枚方土木事務所が施行する京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
伊加賀遺跡・伊加賀古墳群 〔調査〕	8,719,000	642	枚方市
伊加賀遺跡・伊加賀古墳群 〔整理〕	12,934,000	0	枚方市

- ④ 大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大県郡条里遺跡(7) 〔整理〕	8,878,000	0	柏原市
大県郡条里遺跡(8) 〔調査・整理〕	55,492,000	3,284	柏原市
大県郡条里遺跡(9) 〔調査・整理〕	26,458,000	2,170	柏原市

⑤ 大阪府都市整備部 モノレール建設事務所が施行する大阪モノレール延伸事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
西岩田遺跡 [契約締結のみ]	0	0	東大阪市

⑥ 大阪モノレール株式会社が施行する (仮称) 瓜生堂車両基地整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
西岩田遺跡 [調査]	41,143,000	136	東大阪市

⑦ 西日本旅客鉄道株式会社 大阪工事事務所が施行する吹田総合車両所近代化改良工事他事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
目俵遺跡・吹田操車場遺跡 [調査]	3,480,000	1,217	吹田市

⑧ 豊中市が施行する (仮称) 庄内さくら学園整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
庄内遺跡 [整理]	19,188,000	0	豊中市

⑨ 門真市が施行する門真市幸福東土地区画整理事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
普賢寺遺跡 [整理]	22,723,000	0	門真市

⑩ J R島本駅西土地区画整理組合が選定した業務代行者の株式会社フジタが施行する北部大阪都市計画事業 J R島本駅西土地区画整理事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
尾山遺跡 [調査・整理]	23,861,000	2	島本町

⑪ 高槻市成合南土地区画整理組合が選定した業務代行者の大和ハウス株式会社が施行する北部大阪都市計画事業 成合南土地区画整理事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
金龍寺旧境内跡 [報告書印刷]	769,200	0	高槻市

⑫ 学校法人 追手門学院が施行する追手門学院総持寺キャンパス開発事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
太田遺跡(4) [調査]	18,188,000	6,475	茨木市

⑬ 学校法人 立命館が施行する立命館大学O I C新展開施設整備事業地内の発掘調査

(委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
中条小学校遺跡・松ヶ本南遺跡 [調査]	10,399,000	3,440	茨木市

⑭ 三井不動産株式会社が計画し、株式会社 竹中土木 大阪本店が施行する堺市美原区黒山東事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 島田組)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
黒山遺跡・太井遺跡 [整理]	23,631,000	0	堺市美原区

(2) 大阪府外

① 和歌山市が施行する市民会館 (仮称) 市民文化交流センター建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
和歌山城跡 第34次 [整理]	2,344,000	0	和歌山市

<令和3年度 調査事業 総計>

受託件数 26件 (令和2年度 24件)  
 委託金額 383,937,200円 (令和2年度 442,822,500円)  
 調査面積 29,230㎡ (令和2年度 45,672㎡)

(令和元年度 受託件数 27件 調査面積 54,931㎡)  
 (平成30年度 受託件数 21件 調査面積 59,103㎡)  
 (平成29年度 受託件数 24件 調査面積 30,836㎡)

2. 技術支援

大阪府外で実施された下記の埋蔵文化財発掘調査について、調査主体である公益財団法人 かながわ考古学財団からの依頼に基づいて職員を出向させ、技術支援を行った。

(1) 公益財団法人 かながわ考古学財団が実施する第二東海自動車道横浜名古屋線 (新東名高速道路) 建設事業、ならびに関連事業地内の発掘調査 (平成27年度～)

1名

神成松遺跡 西富岡・長竹遺跡 【伊勢原市】

### Ⅲ. 文化財資料活用事業

#### 1. 文化財講演会事業

(1) 文化財講演会事業 シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
	でかける博物館講座 考古学からみる古代の生活				
6. 17	「くじ引きと占い・神判」	一般	近鉄文化 サロン	28	近鉄文化サロン 共催
7. 15	「土器のライフサイクル」			32	
8. 19	「辻占・橋占・チマタの占い」			24	
9. 16	「三陸沿岸と京とのつながり」			38	
10. 21	「住居の廃絶をめぐって」			31	
11. 18	「黒山遺跡・太井遺跡の発掘調査」			45	
12. 2	「弥生文化のもう一つの十字路 「越の国」の弥生文化を考える」			52	
12. 16	「古代日本の玉と数珠」			45	
1. 20	「玉の呪力と用途 ー古墳時代の玉はいかに消費されたか」			43	
2. 17	「オホーツク海の海獣狩猟民」			45	
3. 17	「木簡からみた贅の貢進」			44	

計 11 回 427 名

(2) 連携講演 博物館等外部と連携し、講演会等を次のとおり実施した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
5. 30	「古墳の儀礼と土器ー横穴式石室を中心にー」	一般	オンライン 公開	232	近つ飛鳥博物館 春季特別陳列講演会
6. 26	ラボカフェ／京阪沿線カフェ 「門真市普賢寺遺跡の調査成果」	一般	京阪 なにわ橋駅構内 アートエリアB1	96	
8. 19	歴史探訪と考古学講座 「女王卑弥呼と堺・大阪」	会員	堺市立 女性センター	30	堺自由の泉大学
9. 25	「津堂城山古墳の築造と周辺集落」	一般	近つ飛鳥博物館	29	近つ飛鳥博物館 土曜講座
10. 30	文化財セミナー2021 遺跡を記録する 「発掘調査って何をする？ ～遺構の確認と未来に伝える記録の方法～」	一般	泉佐野市立 池上曾根弥生 学習館	18	

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
R03. 9 ～ R04. 3	四天王寺大学「日本学特殊講義 考古学」 1回 考古学入門—考古学とは何か？ 2回 考古学と遺跡発掘 3回 考古遺物の資料化 4回 旧石器・縄文時代の考古学 5回 弥生時代の考古学（1） 6回 弥生時代の考古学（2） 7回 古墳時代の考古学（1） 8回 古墳時代の考古学（2） 9回 古墳時代の考古学（3） 10回 北と南の考古学 11回 飛鳥奈良時代・平安時代の考古学 12回 中世社会と考古学 13回 近世の考古学 14回 日本と世界の考古学 15回 近・現代の考古学とまとめ	学生	四天王寺大学	24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24 24	
12. 12	交野市市民文化財講座 「私部南遺跡の調査について」	市民	交野市	33	
2. 27	「和歌山城築城前～城の下に眠る遺跡の姿～」	一般	公益財団法人 和歌山県文化財 センター	42	動画録画配信

計 22 回 840 名

## 2. 現地説明会・現地公開事業

### (1) 現地説明会・現地公開等

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
12. 3	太田遺跡・太田廃寺跡	追手門学院大学附属 中学・高校	発掘調査現場	34	
3. 10	中条小学校遺跡	立命館大学考古学専攻生	発掘調査現場	20	

計 2 回 54 名

### (2) 発掘調査の動画配信等

実施年月日	内 容	視聴回数	備 考
9. 8～3. 31	大県郡条里遺跡 調査成果（令和3年度）	1, 287	YouTube 動画
2. 16～3. 31	成合古墳群の発見！ -成合3号墳・成合4号墳の発掘調査-	8, 056	YouTube 動画
7. 5～3. 31	門真市教育委員会 門真市歴史探訪#4～6『大阪府文化財センター 前・中・後編』 門真市普賢寺遺跡の発掘調査成果	—	動画制作協力 / 出演

計 3 回 9, 343 名



### 3. 文化財体験学習事業

(1) 体験学習等 学校教育を支援した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
8. 2 ～ 8. 6	夏期集中講座 「考古学入門」	学生	発掘現場および博物館	8	大阪府立 今宮高等学校
3. 23	日本古代史研究旅行 (「A1 フィールドワーク」選択科目)	学生	中部調査事務所 近つ飛鳥博物館	18	私立和光高等学校 (東京都)

計2回 26名

(2) 子ども向けの体験

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
7. 4	近鉄百貨店サマーキャンパス まなぼスタジオ「はにわ貯金箱をつくろう」	小学生	あべの ハルカス	4	近鉄文化サロン 共催
8. 8	近鉄百貨店サマーキャンパス まなぼスタジオ「銅鐸風鈴をつくろう」	小学生	あべの ハルカス	26	近鉄文化サロン 共催
8. 22	あべの天王寺サマーキャンパス 「銅鐸せっけんをつくろう」 「勾玉をつくろう」	小学生	近鉄文化サロン 阿倍野	4	

計3回 34名

### 4. 文化財展示会事業

(1) 博物館等との連携 スポット展示し、調査資料を公開した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数
5. 12～5. 30	普賢寺遺跡発掘調査速報展 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	一般	門真市立歴史資料館	—
12. 16～2. 6	『町内発掘調査成果速報展』 尾山遺跡	一般	島本町立歴史文化資料館	1, 155
3. 1～3. 31	『上牧遺跡調査成果スポット展示』	一般	高槻市立今城塚古代歴史館	4, 959

計2回 6, 114名

### 5. 文化財広報事業

(1) 当センターの事業年報（令和2年度）の編集・刊行

(2) ホームページでの当センターの情報提供

インターネットを通じて、当センターの発掘調査、イベント、保管資料の公開、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。

(3) 「関西考古学の日」への参加

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、夏季から秋季にかけての期間を設定し、冊子の作成や講演会等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。

### 6. 文化財資料収集整理事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

①令和3年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	178冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	1,597冊
センター発行図書	8冊
計	1,783冊
累計蔵書	100,905冊

②蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

蔵書データベースは、総計100,000レコード。

(2) 文化財情報のデジタル化

報告書に掲載された写真のうち、主にカラー図版の長期保存を図るため、画像データ化し、活用できるようにした。

(3) 文化財の保存管理

発掘調査資料の遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

7. 文化財資料提供事業

(1) 発掘資料の出土品、写真等の貸出、資料調査の対応等

①資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり、資料の出品を行った。

貸出先	展覧会名等	出品資料
吹田市立博物館	春季特別展 「新芦屋古墳―被葬者の謎に迫る―」	玉櫛遺跡：木製鞍
大阪府立 弥生文化博物館	春夏企画展 「繁栄の池上曾根遺跡 ～拠点集落としての姿～」	瓜生堂遺跡、亀井遺跡、下田遺跡：壺、甕、高杯、鉢、環形付木製品、刀剣把装具、刀形木製品、剣形木製品、他
大阪府立 弥生文化博物館	秋季特別展 「近畿最初の弥生人」	山賀遺跡、美園遺跡、久宝寺遺跡、小阪遺跡、西大井遺跡、若江北遺跡、讃良郡条里遺跡：壺、甕、鉢、土偶、突帯文モミ圧痕土器片、浮線網状文土器、石棒、突帯文土器、石槍、石鏃、石庖丁、石剣、石斧、管状土錘、石鏃、鳥形木製品、炭化米、他
大阪府教育委員会	大阪府立弥生文化博物館 弥生プラザ「水差形土器」展	亀井遺跡：水差形土器
大阪府立 近つ飛鳥博物館	夏季企画展 「古市古墳群に暮らした人たち ―集落遺跡からみる古市古墳群―」	はざみ山遺跡：埴輪転用煙突、埴輪転用移动式竈、埴輪転用樋管、土鈴
山梨県立 考古博物館	特別展 「甲府城のすべて―石垣と瓦の考古学―」	大坂城跡：金箔瓦
大阪歴史博物館	秋季特別展 「難波をうたう―万葉集と考古学―」	西岩田遺跡、佐堂遺跡、大坂城址・難波宮跡、久宝寺遺跡、下田遺跡、久宝寺南遺跡：櫛、着柄櫛、墨書土器、人形、獣脚硯、新羅系緑釉蓋、海獣葡萄鏡、船舶先、準構造船模型

貸出先	展覧会名等	出品資料
島根県立 古代出雲歴史博物館	企画展 「COME on 山陰弥生ライフ・米作りはじめました」	山賀遺跡：壺、垂飾形木製品
島根県立 古代出雲歴史博物館	企画展 「出雲と都を結ぶ道ー古代山陰道ー」	久宝寺遺跡：準構造船複製品、準構造船模型
大阪府立 狭山池博物館	秋季特別展 「狭山池のルーツ ー古代東アジアのため池と土木技術ー」	蔵塚古墳：須恵器杯身・杯蓋・はそう・提瓶・壺、土師器鉢、円筒埴輪、俵形土塊
交野市立教育文化会館内 歴史民俗資料展示室	企画展 「交野の文化財Ⅱ」および「スポット展示」	私部南遺跡：須恵器蓋・甕、土師器甕、白玉、有孔円盤、剣形石製品、紡錘車、勾玉、砥石、送風管、台石
和歌山県伊都郡 かつらぎ町妙寺公民館	展覧会 「いにしへの死者のまつり ～縄文・弥生時代の死生観展～」	向出遺跡：石棒

計 12 件 241 点

## ②常設展示資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり常設展示の資料の出品を行った。

大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立狭山池博物館、泉佐野市立歴史館いずみさの、和泉市立いずみの国歴史館、堺市博物館、堺市立みはら歴史博物館、吹田市立博物館、太子町立竹内街道歴史資料館、国立歴史民俗博物館、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館、舞鶴市立赤れんが博物館

計 12 件 278 点

## ③写真資料の貸出

行政機関の他、出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

行政機関等：大阪府教育委員会、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立狭山池博物館、大阪歴史博物館、摂津市、吹田市立博物館、交野市教育委員会、柏原市立歴史資料館、和泉市教育委員会、堺市立みはら歴史博物館、滋賀県立安土城考古博物館、兵庫県立考古博物館、埼玉県立さきたま史跡の博物館、鹿児島県立埋蔵文化財センター、鹿児島県文化振興財団 上野原縄文の森、島根県立古代出雲歴史博物館、春日市教育委員会、国立加耶文化財研究所、木簡学会

出版社等：(一財)放送大学教育振興会、(一財)不審菴文庫、光村推古書(株)、(株)山川出版社、(株)敬文舎、エフオプレスインターナショナル、(株)ロム・インターナショナル、韓国BCエージェンシー、(株)雄山閣、(株)クリエイティブスイート、(株)ディラナダチ、(有)和泉書院

テレビ局等：(株)ネクサス、NHK制作局、NHK大阪拠点放送局コンテンツセンター、(株)NHKエンタープライズ、オフィス自由本舗、(株)ゴッズダイナミックワールド

計 54 件 183 点

## ④資料調査対応

研究者、専攻学生、博物館等から研究のためや展示借用予定資料の事前調査に対応した。

たつの市教育委員会 1、奈良県立橿原考古学研究所 1、根津美術館 1、近畿大学学生 1、京都大学学生 4、京都府立大学学生 1、立命館大学学生 1、奈良大学学生 1、個人研究者 1

計 12 件

## (2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

### (3) 図書の出版・頒布・ミュージアムグッズ頒布

#### ①図書の出版・頒布

令和3年度、下記の図書を出版した。

- 1 第309集 船橋遺跡
- 2 第310集 金龍寺旧境内跡4 (高槻市文化財調査報告書第38冊 高槻市)
- 3 第311集 大県郡条里遺跡7
- 4 第312集 庄内遺跡
- 5 第313集 上牧遺跡
- 6 第314集 大県郡条里遺跡6
- 7 第315集 梶原南遺跡
- 8 年報 令和2年度
- 9 大阪府教育庁文化財調査事務所年報25
- 10 弥生文化博物館 春夏季企画展「繁栄の池上曾根遺跡～拠点集落としての姿～」
- 11 弥生文化博物館 秋季特別展「近畿最初の弥生人」
- 12 近つ飛鳥博物館 夏季企画展「古墳群に暮らした人たち―集落遺跡からみる古市古墳群―」
- 13 近つ飛鳥博物館 秋季特別展「玉からみた古墳時代」
- 14 近つ飛鳥博物館 冬季特別展「オホーツク文化―あなたの知らない古代―」
- 15 近つ飛鳥博物館 館報25

※9については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

#### ②図書の頒布

博物館において来館者サービスの一環として、展示に関連した各出版社の書籍を委託頒布した。

#### ③博物館における関連グッズ頒布

博物館において来館者サービスの一環として、魅力あるミュージアムグッズの頒布を行った。

### (4) 刊行図書の電子化

奈良文化財研究所が運用している「全国遺跡報告総覧」は、埋蔵文化財の発掘調査報告書を全文電子化して、インターネット上で検索・閲覧できるようにした報告書のインデックスであり、当センター刊行の発掘調査報告書のデータを順次、「全国遺跡報告総覧」にアップした。

総数630冊のうち、118冊入力完了。

### (5) 調査成果の公開協力

他団体と連携し、共催事業として展示会へ協力した。

大阪府教育委員会 弥生プラザ「水差形土器」展 大阪府立弥生文化博物館

12月7日～令和4年3月31日(6月7日) 資料提供および共催

## 8. 文化財研究事業

### (1) 近畿ブロック埋文研修会

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが開催する近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

## IV. 大阪府立弥生文化博物館事業

### 1. 展示公開事業

4月25日(日)から6月20日(日)まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、および12月24日(金)から26日(日)まで施設点検のため、臨時休館。

#### (1) 常設展示

第1展示室は、「目で見る弥生文化」の導入ゾーン、「米づくりの始まり」「新しい技術の誕生」「ムラ・戦い・クニ」「弥生人」「交流」「死とまつり」のテーマゾーン、卑弥呼像を中心としたシンボルゾーンで、弥生文化をビジュアル的に展示した。

第2展示室は「池上曾根ワールド」と題して、国史跡池上曾根遺跡から出土した資料を展示した。

#### (2) 特別展・企画展

##### ①池上曾根遺跡史跡指定45周年、史跡公園開園20周年、大阪府立弥生文化博物館開館30周年記念 春夏季企画展「繁栄の池上曾根遺跡～拠点集落としての姿～」

【入館者数：4,792名 67名/日】

#### ア. 開催概要

池上曾根遺跡は、弥生時代の拠点集落の新たなイメージを生み出す数々の成果を上げてきた。本年は、この池上曾根遺跡が国史跡に指定されてから45年、史跡公園が開園して20年、弥生文化博物館が開館して30年となる節目であった。和泉市・泉大津市と協働し、周辺の遺跡も取り上げて、泉北の古代史に池上曾根遺跡を改めて位置づける展示会とした。保存活用計画があらたに策定されることも合わせて、今後の史跡整備と弥生文化研究を方向づける一歩を踏み出すことができた。

イ. 開催期間 4月27日(火)～9月12日(日) 【会期：72日間】

4月27日から6月20日までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館。

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

エ. 展示解説 1階ホールにおいて学芸員や和泉市・泉大津市の職員による展示の見どころ解説を実施した。

6月26日(土)、7月10日(土)、24日(土)、8月14日(土)、28日(土)

【参加者数：計49名】

##### ②大阪府立弥生文化博物館開館30周年記念 秋季特別展「近畿最初の弥生人」

【入館者数：4,979名 89名/日】

#### ア. 開催概要

弥生文化のスタートは、本格的な農耕の導入という新しい生活スタイルだけでなく、信仰や社会のしくみの変化でもあった。その背景に西からの人の移動があったが、新しい文化はどうやって受け入れられていったのか。この移行期のあり方は地域によりかなりの違いがみられたことが改めて注目される。本展は近畿に軸足を置き、具体的な資料に基づきながら四国などと比較することで「最初の弥生人」の姿を追いかけた。

イ. 開催期間 10月9日(土)～12月12日(日) 【会期：56日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

エ. 展示解説 1階ホールにおいて学芸員による展示の見どころ解説を実施した。

10月23日(土)、11月13日(土)、20日(土)

【参加者数:計124名】

### ③冬季ミュージアムギャラリー「創作展いずみー和泉市文化協会美術部門八部門の粋ー」

【入館者数:2,597名 51名/日】

#### ア. 開催趣旨

地元和泉市において文化活動に積極的に取り組んでいる和泉市文化協会の美術8部門(木彫り、写真、書道、水墨画、陶芸、日本画、俳画、洋画)の会員の粋を集めた創造的な作品展示を博物館で開催することにより、地元の皆様をはじめ多くの方々に美術作品を鑑賞していただき、地域に開かれた親しまれる博物館として役割を担った。

イ. 開催期間 令和4年1月22日(土)～3月21日(月・祝)

【会期:51日間】

## (3) スポット展示

### ①スポット展示

大阪府内における遺跡の紹介展示を実施した。

【入館者数:41名】

ア. 開催概要 「船橋遺跡資料からみる突帯文と遠賀川」

イ. 開催期間 令和4年3月31日(木)【令和4年5月8日まで予定】

【会期:1日間】

### ②弥生プラザ

大阪府教育庁による発掘調査成果等の展示コーナー「弥生プラザ」において、下記の展示を実施すると共にリーフレットを作成、配布した。

「国府遺跡あれこれ」 令和2年12月2日(水)～令和3年4月24日(土)

「ツボ三昧」 令和3年6月22日(火)～12月5日(日)

「水差形土器の世界」 令和3年12月7日(火)～令和4年6月7日(火) 予定

## 2. 講演会事業

### (1) 特別展・企画展関連の講演会

#### ①春夏季企画展「繁栄の池上曾根遺跡～拠点集落としての姿～」

5月5日(水・祝) ミニシンポジウム『「弥生神殿」と「弥生都市論」』 【中止】

「池上曾根・大形建物の現地復原をめぐって」 秋山浩三(当館副館長)

「池上曾根遺跡と弥生都市論」 禰冨田佳男(当館館長)

5月22日(土) 「和泉の弥生文化のはじまり」 三好孝一(当館学芸課長) 【中止】

6月19日(土) 「池上曾根遺跡の繁栄と交流」 【中止】

奥野美和(泉大津市教育委員会生涯学習課文化財係長)

7月17日(土) 「弥生時代後期の和泉」 【参加者数:24名】

千葉太朗(和泉市教育委員会文化遺産活用課文化財係長)

8月21日(土) 「四ツ池遺跡と池上曾根遺跡をめぐって」 【参加者数:37名】

樋口吉文(元堺市教育委員会)

#### ②秋季特別展「近畿最初の弥生人」

10月16日(土) 「近畿弥生開始期の土器ー若江北遺跡の土器をめぐってー」 【参加者数:39名】

三好孝一（当館学芸課長）

11月6日（土） 「土偶と石棒からみた縄文・弥生転換期」 【参加者数：48名】

秋山浩三（当館副館長）

11月27日（土） 「石庖丁からみた弥生時代開始期」 【参加者数：46名】

仲原知之（和歌山県教育庁文化遺産課主任）

12月4日（土） 「縄文・弥生転換期の家・村・墓」 【参加者数：90名】

大野 薫（立命館大学文学部講師）

## （2）「木曜大学」などの講座

①木曜大学 今年度は特別講義として実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、参加人数に制限を設け、往復はがきによる事前応募者のみの参加とした。

7月8日（木） 「藤原仲麻呂がつくった壮麗な国庁 近江国府」 【参加者数計：28名】

黒崎 直（当館名誉館長）

8月12日（木） 「律令国家の対蝦夷政策相馬の製鉄遺跡群」 【参加者数計：43名】

禰亘田佳男（当館館長）

9月9日（木） 「平安末期の広大な浄土世界鳥羽離宮跡」 【参加者数計：44名】

秋山浩三（当館副館長）

【3回参加者数計：115名】

## ②木曜大学大学院

テーマ 「魏志倭人伝を読む」 「邪馬台国時代の遺跡を考える」 講師 禰亘田佳男（当館館長）

第1回 10月14日（木） 【参加者数計：55名】

第2回 12月9日（木） 【参加者数計：61名】

【2回参加者数計：116名】

## ③若き考古学徒、論壇デビュー！

コーディネーター 禰亘田佳男（当館館長）、秋山浩三（当館副館長）

第1回 2月12日（土） 【参加者数：31名】

「近畿地方における弥生絵画の諸相－弥生時代中期の絵画土器を中心に－」

軽野大希（近畿大学文芸学部文化・歴史学科4年次生）

「豊中市・桜井谷窯跡群における須恵器生産の展開とその特質」

我妻佑哉（大阪大学大学院文学研究科博士前期課程1年次生）

第2回 3月5日（土） 【参加者数：24名】

「周溝墓出土土器からみた葬送儀礼の地域性と造墓集団

－弥生時代中期の大阪湾沿岸地域を中心に－」

蓮井寛子（大阪大学大学院文学研究科博士前期課程1年次生）

「鳥舌式鉄鏃の形状および保有形態の変化とその背景に関する考察」

池田 旭（関西大学大学院文学研究科博士前期課程1年次生）

第3回 3月19日（土） 【参加者数：21名】

「新石器時代ダクラ・オアシスにおける土器文化」

永田大樹（近畿大学大学院総合文化研究科修士課程2年次生）

「近世墓地設備の研究」 田中 稔（大阪大谷大学大学院文学研究科博士後期課程1年次生）

【3回参加者数計：76名】

### （3）弥生時代講座

弥生時代の研究グループ「近畿弥生の会」と連携し、弥生時代の講座を実施した。

8月7日（土） 「史跡安満遺跡、保存から活用へー安満遺跡公園全面開園」 【参加者数：30名】

鐘ヶ江一朗（高槻市街にぎわい部文化財課副主幹）

10月30日（土） 「GIS空間分析から読む弥生時代の集落の立地と眺望」 【参加者数：57名】

宇佐美智之（立命館大学文学部地域研究学域特任助教）

12月11日（土） 「縄文ー弥生移行期における木材利用の変化」 【参加者数：73名】

村上由美子（京都大学総合博物館准教授）

2月5日（土） 「『もちはこばれた河内の土器』 【参加者数：61名】

ー生駒山西麓産土器についてー

西浦 熙（奈良県立橿原考古学研究所調査部調査課技師）

【4回参加者数計：221名】

## 3. 「府民が参加する博物館」事業

### （1）やよいミュージアムコンサート

「音楽のきこえる博物館」のコンセプトのもと、エントランスホールにおいて、さまざまなジャンルのコンサートを行ってきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は開催を見合わせた。

### （2）ミニギャラリー

府民の創作活動を発表する場として、エントランスホールを活用し、絵画、写真等の作品展を行った。

5月2日（日）～5月15日（土） 「日本茜を知る」 【中止】

7月10日（土）～7月25日（日） 「kid's 考古学新聞コンクール全国巡回展」

【入館者数：1,482名】

10月19日（火）～10月31日（日） 「一灘 邦子 切絵の世界ー『慈愛』」 【入館者数：1,140名】

11月23日（火・祝）～12月12日（日） 伝統工芸パネル展「伝統工芸のわざ『鍛金』」

【入館者数：1,879名】

12月5日（日） 実演講演会 三好正豊氏（金工作家） 【参加者数：27名】

### （3）絵画コンテスト

当館を身近な存在として捉えてもらうため、弥生時代にちなんだテーマをもとに小・中学生を対象に作品を公募し、優秀作品の表彰・展示をエントランスホールで行った。

開催期間：7月31日（土）～8月14日（土） 【入館者数：1,042名】

審査員：小灘一紀（画家・日展評議員）、石橋敏彦（元泉大津市立条南小学校校長）

① 応募締切：6月13日（日）



② 応募点数：222 点

③ 表彰式：7月31日（土）

金賞「卑弥呼の予言と焦る人々」橋本和弥（和泉市立緑ヶ丘小学校6年）

金賞「弥生人になりきれ！ 貫頭衣づくり編」重田彩音（羽曳野市立西浦小学校6年）

銀賞2点、銅賞2点、佳作10点を含む入選44点

#### （4）ボランティア活動および研修

講演会・ワークショップ・体験学習・出前授業などの事業へのボランティア活動について、自宅における翻訳支援以外のすべての活動をコロナ禍の状況に鑑みて見合わせた。

### 4. 「博物館 in school」事業—博学連携事業

#### （1）小中学校の団体見学受け入れ

各学校との連携により、ワークシートの利用を呼びかけ、要望に応じて当館の学芸員や教育専門員が展示解説を行い、展示室での生徒の学習を支援した。

・下見説明会 4月2日（金）9校

【参加者：29名】

4月6日（火）6校

【参加者：18名】

・小学校/支援学校

【18校 18件 入館者数：1,175名】

〈和泉市〉光明台南小学校・緑ヶ丘小学校・北池田小学校・池上小学校 〈泉大津市〉戎小学校・上條小学校 〈大阪市〉西生野小学校・東小橋小学校・北巽小学校 〈堺市〉土師小学校 〈岸和田市〉大宮小学校 〈高石市〉取石小学校 〈河内長野市〉川上小学校 〈枚方市〉桜丘北小学校 〈羽曳野市〉西浦小学校 〈吹田市〉北山田小学校 〈府立〉堺聴覚支援学校 〈私立〉建国小学校

・中学校

【1校 1件 入館者数：41名】

〈私立〉帝塚山学院泉ヶ丘中学校

#### （2）その他団体見学受け入れ

こうま学童保育所、南大阪を元気にする会、年輪大学、泉大津市立池上曾根弥生学習館、NPO シニア自然大学、和泉市養護教諭部会、大阪市コミュニティ協会平野区支部協議会、放課後デイサービス自由帳、和泉市観光ボランティアガイド、放課後デイサービスうきうきまんてん

【10団体 入館者数：321名】

#### （3）体験ゾーンの活用

弥生文化に親しみをもってもらうため、小中学生をはじめとする団体利用者に対し、屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。

【14団体 29件 利用者数：924名】

#### （4）出前授業

幼稚園から高等学校にいたる学校等を対象に、弥生文化をはじめとした歴史や博物館に興味や親しみをもってもらうため、教育専門員・学芸員・学芸スタッフが学校等に出かけ、体験学習等を行った。

【19校 40回 1,182名】

〔小学校〕 〈和泉市〉信太小学校（2回） 〈泉大津市〉条南小学校（3回） 〈大阪市〉南田辺小学校（4回）・安立小学校（3回）・千本小学校（3回）・今里小学校・小林小学校（2回）・遠里小野小学校・栄小学校（2回） 〈堺市〉錦西小学校・福泉中央小学校（2回）・家原寺小学校（2回） 〈岸和田市〉東

葛城小学校・浜小学校（2回）〈貝塚市〉葛城小学校〈忠岡町〉忠岡小学校〈枚方市〉東香里小学校（2回）・第二小学校（3回）

〔中学校〕〈東大阪市〉孔舎衛中学校（4回）

#### （5）中学生の職場体験学習

将来希望する職業を実際に体験し、働くことを学び、将来の職業選択の参考とする体験学習の支援を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受け入れ希望はなかった。

#### （6）大学生博物館実習

近畿圏内をはじめとする各大学からの依頼を受けて博物館実習・研修などを行った。

6月27日（日）	京都橋大学	【17名】
7月3日（土）	京都橋大学	【30名】
7月3日（土）	桃山学院大学	【6名】
7月10日（土）	京都橋大学	【16名】
7月18日（日）	関西大学	【30名】
7月27日（火）～7月31日（土）	博物館実習	【14大学35名】

#### （7）博学連携セミナー

教員対象に授業などの学習活動に活かせる内容の特別展解説、テーマ講演等を行った。

8月5日（木）	小中学校教諭対象	【18名】
8月6日（金）	高校教諭対象	【16名】

高校生を対象に長期休暇期間中に歴史・文化等に親しみ、興味をもつ機会となる内容のセミナーを実施した。

6月29日（火）	大阪府立今宮高等学校体験学習	【20名】
7月10日（土）～8月29日（日）	大阪府立泉陽高等学校「夏休みの宿題：博物館見学」	【184名】
8月5日（木）	大阪府立今宮高等学校体験学習	【9名】
8月6日（金）	高校生のための博物館ツアー	【11名】
8月17日（火）・19日（木）	大阪府立泉陽高等学校「バックヤードツアー」	【計17名】
3月23日（水）	和光高等学校「日本古代史研究旅行」 鑄造体験 (近つ飛鳥博物館にて実施)	【20名】

#### （8）教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館に誘致し、連携を深める試みを実施している。今年度は和泉市養護教諭部会の団体利用を受け入れた。

#### （9）子ども一日館長

近隣小学校の児童を一日館長に任命し、任命式・宝べやツアー等の行事の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見合わせた。

### 5. 「どこでも博物館」事業

#### （1）出張展示

①大阪府立中央図書館 「『卑弥呼の時代を描こう』優秀作品展」

開催期間 8月17日(火)～9月12日(日) 【入館者数：31,159名】

## ②大阪府立狭山池博物館

「令和3年度でかける博物館出前展示「船橋遺跡をさぐるー古代河内の中心と役人たちー」

開催期間 2月22日(火)～5月8日(日) 予定 【入館者数：14,005名】

## ③生きているミュージアム ニフレル 「タコ壺展示」

開催期間 1月25日(火)～2月28日(月) 【入館者数：非公開】

## (2) サテライトミュージアム

①和泉市立池上曾根弥生情報館 当館所蔵資料の展示 【入館者数：51,200名】

開催期間 4月1日(木)～3月31日(木) ※4月25日～6月20日臨時休館

②泉大津市立池上曾根弥生学習館 当館所蔵資料の展示 【入館者数：4,397名】

開催期間 4月1日(木)～3月31日(木) ※4月25日～6月20日臨時休館

## (3) 学芸員の出張講演・講座

当館学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、成人の生涯学習を支援した。

### ①近鉄文化サロン でかける博物館講座 考古学からみる古代の生活8

9月16日(木) 「三陸沿岸と京とのつながりー岩手県での調査事例からー」三好孝一(当館学芸課長) 【参加者数：38名】

12月2日(木) 「弥生文化のもう一つの十字路口「越の国」の弥生文化を考える」禰亘田佳男(当館館長) 【参加者数：45名】

12月16日(木) 「古代日本の玉と数珠」秋山浩三(当館副館長) 【参加者数：52名】

2月17日(木) 「オホーツク海の家獣狩猟民」塚本浩司(当館総括学芸員) 【参加者数：45名】

### ②四天王寺大学 歴史・文化・観光特殊講義「考古学」

10月5日(火) 三好孝一(当館学芸課長) 【参加者数：24名】

10月12日(火) 塚本浩司(当館総括学芸員) 【参加者数：24名】

10月19日(火) 三好孝一(当館学芸課長) 【参加者数：24名】

10月26日(火) 塚本浩司(当館総括学芸員) 【参加者数：24名】

11月30日(火) 塚本浩司(当館総括学芸員) 【参加者数：24名】

12月14日(火) 三好孝一(当館学芸課長) 【参加者数：24名】

### ③堺市立みはら歴史博物館歴史文化振興事業シリーズ講座 みはら発掘ものがたり

11月19日(金) 「河内鑄物師の足跡を掘る」三好孝一(当館学芸課長) 【参加者数：39名】

### ④生きているミュージアム ニフレル連携

1月10日(月・祝) 「イイダコと人の2000年のつながり」 【参加者数：560名】

塚本浩司(当館総括学芸員)(インスタライブ配信)

### ⑤「安満遺跡公園」全面開園記念シンポジウム

2月6日(日) 「弥生時代開始期の近畿ー縄文人と弥生人の共生ー」 【参加者数：123名】

コーディネーター 禰亘田佳男(当館館長)

記念講演「近畿地方の弥生時代のはじまりー河内湖周辺の様相からー」

三好孝一(当館学芸課長)

#### (4) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出展した。

- ①しおんじやま学び場オンライン 5月9日(日) 【参加者数：159名】  
内容・連携先 「大阪府立弥生文化博物館を歩く」 八尾市立しおんじやま古墳学習館  
秋山浩三(当館副館長)、高瀬裕太(当館学芸員)
- ②まなぼスタジオ 8月8日(日) 【参加者数：25名】  
内容・連携先 「銅鐸風鈴づくり」 近鉄文化サロン阿倍野
- ③コトコトステージ 8月14日(土) 【参加者数：9名】  
内容・連携先 「「卑弥呼の時代」の鏡をつくろう」 西宮阪急
- ④夏休みこども講座ワークショップ 8月18日(水) 【参加者数：13名】  
内容・連携先 「カラフルな銅鐸せっけんをつくろう！」 岸和田市立中央公民館
- ⑤あべの天王寺・サマーキャンパス2021 8月22日(日) 【参加者数：3名】  
内容・連携先 「銅鐸せっけんをつくろう」 近鉄文化サロン阿倍野
- ⑥第36回オープンデイ代替イベント秋 たっぷりDAY 11月3日(水・祝) 【参加者数：52名】  
内容・連携先 「銅鐸石鹸づくり」 大阪府立少年自然の家
- ⑦古墳フェスにはにコットVol.10(動画配信アプリ17と連携) 11月20日(日) 【参加者数：4,000名】  
内容・連携先 「館キャラによる館紹介」 にはにコット実行委員会

## 6. 「体験する博物館」事業

### (1) 他館との連携事業

他館と連携し、解説や館紹介の配信を行った。

- ①八尾市立しおんじやま古墳学習館 5月10日(月)～3月31日(木) 【再生回数：625回】  
しおんじやま学び場オンライン～大阪府立弥生文化博物館を歩く～(動画再生)
- ②生きているミュージアム ニフレル 1月11日(火)～2月28日(月) 【再生回数：4505回】  
弥生文化博物館×ニフレル「イイダコと人の2000年のつながり」(動画再生)

### (2) 史跡公園の活用

博物館実習・研修のプログラムに取り入れるなどして、学芸員の解説による史跡公園の見学を実施した。

### (3) こどもファーストデイ(みんないっしょに考古楽)

大阪府が進める「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から6月迄開催を中止し、7月から再開。11月からは、同時に行う「土器・銅鐸パズル」も再開した。 【参加者数：合計173名】

- |           |               |           |                 |
|-----------|---------------|-----------|-----------------|
| 4月17日(土)  | 「ねらえ！ピッチング古代」 | 5月15日(土)  | 「土器をさわってみよう」    |
| 6月19日(土)  | 「石器を使ってみよう」   | 以上、中止     |                 |
| 7月17日(土)  | 「銅鐸風鈴をつくろう」   | 8月21日(土)  | 「弥生博の宝ベヤを探検しよう」 |
| 9月18日(土)  | 「弥生の弓矢体験」     | 10月16日(土) | 「石器を使ってみよう」     |
| 11月20日(土) | 「弥生の米つき体験」    | 12月18日(土) | 「勾玉消しゴムをつくろう」   |

1月15日(土) 「ねらえ!ピッチング古代」 2月19日(土) 「弥生の火おこし体験」  
3月19日(土) 「弥生の弓矢体験」

## 7. 企業との連携事業

### (1) 遺跡見学ツアー

民間旅行会社と連携し、特別展開連の遺跡を見学する考古学ツアーを計画していたが、コロナ禍の状況に鑑みて催行しなかった。

## 8. 広報普及事業

### (1) ミュージウムカレンダー

館行事を広く周知するため、行事予定をカレンダーにして作成、配布した。

### (2) 要覧作成

『令和2年度弥生文化博物館要覧』(令和4年3月31日発行)を作成し、関係諸機関に配付した。

### (3) 校外学習・出前授業等の利用促進

校外学習や出前授業等の博物館活動について、小学校他への個別訪問等を通じて案内した。 【151件】

### (4) 広報活動の活発な展開

- ・各種催しについて報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。
- ・和泉市・泉大津市の協力により、広報誌に当館の行事案内を掲載した。また、和泉市いずみの国観光おもてなし処(和泉府中・和泉中央駅近接地)において、各種のチラシを配布する等の広報活動を実施した。
- ・共同で指定管理を担う近鉄ファシリティーズ株式会社のグループ関連総合カルチャーセンター「近鉄文化サロン」において、「出かける博物館講座」を共催し、広報・企画部門において協力を得た。
- ・秋季特別展を新聞社の後援を得て開催し、当該新聞に広告を掲出し積極的な広報に努めた。
- ・(一財)KIX泉州ツーリズムビューローによる、泉州地域の事業者を対象としたGoogleビジネスプロフィールを活用した集客支援事業に参加し、WEBによる広報の充実と促進を行った。
- ・令和4年度春季企画展の広報として、インスタグラムでターゲットを選定し、SNS広告配信運用を実施した。アカウントの育成、集客・母集団形成により、当館の認知度の向上を図った。

### (5) インターネットホームページ

当館ホームページ及びフェイスブック・インスタグラムを用いて、常設展・特別展・企画展・博物館催し物等に関する情報を発信した。 【年間アクセス件数:170,534件】

### (6) 動画等の配信

館のマスコットキャラクターが弥生文化や当館の展示物、催し等を紹介する4コマ漫画や、新規に特別展・企画展の解説動画をホームページやYouTubeに公開し、インターネット上で配信を行った。

春夏季企画展「繁栄の池上曾根遺跡～拠点集落としての姿～」 解説動画①②③④

秋季特別展「近畿最初の弥生人」 解説動画①②③④

【8件】

### (7) 弥生フェスティバル開催

昨年度は開催を見合わせた「弥生フェスティバル」について、今年度はオンライン配信での開催を試みた。

3月26日(土) 令和3年度第12回弥生フェスティバル 【参加者数：47名】  
オンライン ver. オンライントークショー

「弥生博よもやま話ー池上曾根遺跡や船橋遺跡についてー」

秋山浩三(当館副館長)、三好孝一(当館学芸課長)、高瀬裕太(当館学芸員)

※3月26日(土)～31日(木)までの視聴回数 152回

3月27日(日) 令和3年度第12回弥生フェスティバル 【参加者数：10名】  
オンライン ver. オンラインワークショップ

『卑弥呼からの依頼～初級編～』に挑戦！」

「弥生時代の絵を学ぼう！」

「カイトとリュウさんの絵描き歌」

高瀬裕太(当館学芸員)、飯村円(当館学芸員)

## 9. 研究事業

1. 大学等の研究者と学術交流を行った。 【173名】

2. 他博物館、大学、研究機関、学会、研究会、企業などと連携した研究活動を行った。

・弘前大学人文社会学部北日本考古学研究センターとの共同研究

「出土米の形態・DNA分析調査」

・文化遺産国際協力事業「カンボジア、サンボア・プレイ・クック遺跡群の保存に関する人材養成事業」  
の研修プログラムにおけるオンライン研修

11月25日(木) 筑波大学 下田一太

【参加者数：15名】

3. 仲林篤史(京都府立大学共同研究員)と連携し、館蔵品の3D計測用写真撮影を行い、3次元動画製作に協力した。

・池上曾根遺跡出土鳥形木製品①②及び①のEnglish subtitle version

・池上曾根遺跡出土龍絵画土器

## 10. 資料調査・収集・製作事業

### (1) 図書資料管理・収集

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。また、「国際ソロプチミスト大阪ーいずみ」からの寄附によって専門図書を購入し、開架図書の充実を図った。

### (2) 館蔵資料の貸出し

当館所蔵の資料(実物・復元・写真・映像ほか)を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用すると共に、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。 【実物資料4件 40点/写真資料40件 111点】

## 11. サービス事業

### (1) マーケットリサーチの実施

今後の事業展開の基礎とするため、特別展においてアンケートを実施し、来館者の要望や展示内容への疑問などの把握に努めた。

## 【意見と対応】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として実施していた音声ガイド等の使用休止に関する改善、コロナ禍において遠方から来館できない利用者からの要望等。

⇒音声ガイド、さわれるコーナー等を10月から段階的に再開。さらに、文化施設の感染拡大予防等の国庫補助金を活用して、令和2年度導入し好評を得ている非接触空中ディスプレイを増設し、コロナ禍におけるデジタル機器の安全な利用環境を整備した。企画展・特別展の展示品解説動画を回数・内容ともに充実させ、フェイスブック等においても詳しい告知を心掛けた。

### (2) 障がい者等への利用援助

- ・支援学校の校外学習に際して柔軟な対応で解説や体験を実施した。
- ・介護老人保健施設を対象に ICT（通信技術を活用した相互コミュニケーション）による見学会を実施。

8月26日（木）

【参加者数：65名】

### (3) 子どもにもわかりやすい解説

館のマスコットキャラクター「カイト」と「リュウさん」による弥生時代を解説する「連載マンガ」と「弥生博アニメ」をホームページに掲載した。加えて、「弥生クイズー卑弥呼からの依頼」により、コロナ禍におけるオンラインでの利用促進を図った。館内のデジタルサイネージの利用を再開した一方、VRブースにおける遺跡VRによる遺跡情報の提供、展示巡回システムによるコンテンツの提供は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見合わせた。

## 12. 研修事業

### (1) 学芸研修

外部の各種研修への参加は、コロナ禍の状況に鑑みて見送ることとしたが、公開承認施設連絡会議がオンラインでの実施となったため、職員の研修や博物館管理・運営の参考のためオンライン会議を視聴した。

6月3日（木）公開承認施設連絡会議

### (2) 人権研修・消防訓練

人権啓発用ソフト（教材）の視聴によって、職員の人権研修を実施した。

3月15日（火）、16日（水）、17日（木）

消防計画に基づいて、和泉市消防署の指導による自衛消防訓練研修を実施した。 12月24日（金）

## 13. 施設管理事業

### (1) 日常的管理

指定管理共同企業体の近鉄ファシリティーズ株式会社と共に施設管理年間計画を策定し、定期点検等、施設管理を行った。また、経年劣化等により修繕が必要な箇所を抽出し、所管課に改善を提案した。

### (2) 修繕

急を要するものや来館者の満足度向上に資すると思われるものについて、適宜修理等を提案し、実施した。

- ・ハロンボンベ室熱感知器仮移設
- ・屋内消火栓ホース更新
- ・ガス吸収式冷温水機（空調設備）真空不良箇所調査及び補修

- ・消防設備不良箇所（ハロゲン化物消火設備、消防用水）改修
- ・中央監視盤故障調査及び応急修理
- ・男女トイレ洗面台排水管交換
- ・高木強剪定及び除草
- ・一般収蔵庫系統排風機整備
- ・送風機（多目的ホール用）モーター交換
- ・空調自動制御器不具合改修
- ・常設展示室タッチモニター修繕
- ・映像再生機器更新

### (3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑みて、各事業の内容・回数・実施方法を検討し、開催した。  
また、館内消毒を心がけると共に、来館者に向けて手指消毒の呼びかけや検温等も継続して行った。

## 14. 入館者数及び入館料一覧表

(令和3年度)

区 分	入館者数 (名)			入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	815	1,611	2,426	217,460	75
割合 (%)	17.1	16.1	16.4		
春夏季企画展	1,317	3,475	4,792	434,240	72
割合 (%)	27.6	34.7	32.4		
秋季特別展	1,851	3,128	4,979	820,550	56
割合 (%)	38.7	31.2	33.7		
冬季ミュージアム ギャラリー	795	1,802	2,597	193,950	51
割合 (%)	16.6	18.0	17.5		
合 計	4,778	10,016	14,794	1,666,200	254
割合 (%)	100.0	100.0	100.0		

<年度比較>

令和2年度実績	14,880	2,159,930	225
令和元年度実績	38,310	3,223,140	277
平成30年度実績	52,401	5,073,390	299

### ※臨時休館

4月25日(日)～6月20日(日)の49日間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

12月24日(金)～26日(日)の3日間、施設点検のため



## V. 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

### 1. 展示公開事業

4月25日（日）から6月20日（日）まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館。

#### (1) 常設展示

『近つ飛鳥と国際交流』、『古代国家の源流』、『現代科学と文化遺産』をテーマとし、展示公開を行った。

#### (2) 特別展・企画展

##### ①夏季企画展「古市古墳群に暮らした人たち―集落遺跡からみる古市古墳群―」

【総入館者 7,724 名・展示室入館者数 3,294 名・展示室 78 名／日】

##### ア. 開催趣旨

世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群に関連して、古市古墳群内で行われた最近の調査・研究成果や従来から蓄積された資料の中から、古市古墳群造営時期の周辺集落遺跡について考えた。

イ. 開催期間 7月17日（土）～9月5日（日） 【会期 42 日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット、解説シート（2枚）

エ. 展示解説 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学芸員による展示解説は実施せず、音声ガイドの貸出、展示紹介動画2回。

##### ②秋季特別展「玉からみた古墳時代」

【総入館者数 14,677 名・展示室入館者数 5,607 名・展示室 112 名／日】

##### ア. 開催趣旨

古墳時代の装身具「玉」を取り上げて、社会的ステータス・シンボルであり壮麗な舞台を彩るシンボルとして様々な形で用いられた装身具と装身文化の背景、王権とのかかわりや社会的な意味などに焦点を当てて古墳時代を考えた。

イ. 開催期間 10月2日（土）～11月28日（日） 【会期 50 日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット、解説シート（2枚）。

エ. 展示解説 学芸員による展示解説4回、音声ガイド、展示紹介動画4回。

##### ③冬季特別展「オホーツク文化―あなたの知らない古代―」

【総入館者数 17,346 名・展示室入館者数 5,200 名・展示室 104 名／日】

##### ア. 開催趣旨

サハリン南部から北海道の東北部、千島列島にかけて、5世紀から9世紀頃に広がったオホーツク文化について、東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設が中心となり最新の研究成果を展示した。

イ. 開催期間 令和4年1月15日（土）～3月13日（日） 【会期 50 日間】

ウ. 共 催 東京大学大学院人文社会系研究科・同附属北海文化研究・横浜ユーラシア文化館

エ. 印刷物 図録、リーフレット

オ. 展示解説 学芸員による展示解説4回、音声ガイド、展示紹介動画3回。

#### (3) 特別陳列・連携展示

##### ①春季特別陳列「献ずる器―須賀古墳群出土品を中心に―」

【総入館者数 242 名・展示室入館者数 50 名・展示室 50 名/日】

ア. 開催趣旨

この展示では、古墳専用の独特な形をした器「子持器台」といわれる坏をたくさん貼り付けた器台などを取り上げた。一須賀古墳群出土の館蔵品を中心とした南河内の古墳専用の器について考えた。

イ. 開催期間 4月24日(土)～6月13日(日) 【1日間(44日間予定)】

※4月25日(日)から6月20日(日)まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館。

ウ. 印刷物 リーフレット

エ. 展示解説 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学芸員による展示解説は実施せず、展示紹介動画4回、オンライン講演会1回(第1～3部)。

(4) スポット展示

周辺自治体の調査成果や館収蔵資料のうち未公開資料等、最情報をスポット展示で発信した。

①滋賀県立安土城考古博物館連携展示「でかける博物館 in 近つ飛鳥博物館」の実施

ア. 「滋賀県最古の文字資料—桜生7号墳出土の須恵器」 【1,954名】

主催：滋賀県立安土城考古博物館

会期：8月14日(土)～9月20日(月・祝)

イ. 広域連携・誘客促進企画「自然への信仰と日本文化の形成」 【30,946名】

主催：「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

会期：11月20日(土)～令和4年3月31日(木)

2. 講演会事業

(1) 特別展・企画展等関連の講演会

特別展・企画展のテーマに沿って、来館者の歴史文化に対する関心を高めるなど、生涯学習のきっかけづくりのため講演会を開催した。

5月30日(日)「古墳の儀礼と土器—横穴式石室を中心に—」※臨時休館中のためオンライン配信

森本徹((公財)大阪府文化財センター) 【232名】

8月22日(日)「古市古墳群の地に住んだ人々—古代文献史料に探る—」 館野和己(当館館長) 【75名】

11月7日(日)「玉の生産と流通からみた古墳時代社会の変化」大賀克彦氏(奈良女子大学) 【92名】

令和4年2月20日(日)「オホーツク文化の骨角器」高橋健氏(横浜ユーラシア文化館) 【50名】

令和4年3月13日(日)「オホーツク文化と周辺諸文化の交流」熊木俊朗氏(東京大学) 【91名】

(2) 近つ飛鳥入門講座・土曜講座

①入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』」

常設展示の内容に基づいた基礎的な講座として実施した。

4月10日 「石製品と石製模造品」 廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長) 【19名】

5月8日 「木材の種類と木製品」 東藤隆浩(当館学芸員) 【中止】

6月12日 「海の生産用具」 島崎久恵(当館総括学芸員) 【中止】

7月10日 「前方後円墳の移り変わり」 市村慎太郎(当館総括学芸員) 【35名】

8月7日 「土器の科学分析と産地」 東藤隆浩(当館学芸員) 【25名】

9月11日	「古墳時代の建物」島崎久恵（当館総括学芸員）	【36名】
10月9日	「古墳の埋葬施設の移り変わり」市村慎太郎（当館総括学芸員）	【37名】
11月13日	「木材の種類と木製品」東藤隆浩（当館学芸員）	※5月8日中止分 【29名】
12月11日	「海の生産用具」島崎久恵（当館総括学芸員）	※6月12日中止分 【17名】
1月8日	「近つ飛鳥博物館の展示にみる土師器」市村慎太郎（当館総括学芸員）	【18名】
2月12日	「近つ飛鳥博物館の展示にみる古墳時代の文明開化」廣瀬時習（当館副館長兼学芸課長）	【32名】
3月12日	「埋もれた遺跡を見る方法」東藤隆浩（当館学芸員）	【27名】

【合計10回・275名】

## ②土曜講座「オーサカ発 調査研究最前線」

学芸員による研究成果に加えて、大阪府教育庁・大阪府文化財センターをはじめ、大阪府内市町村教育委員会などの協力を得て講師を招聘し、最新の研究成果を伝える場として開催した。

4月24日	「古市古墳群と冢形埴輪」市村慎太郎（当館総括学芸員）	【中止】
5月22日	「一須賀古墳群と装飾付須恵器」島崎久恵（当館総括学芸員）	【中止】
6月26日	「甗形土器からみた須恵器生産」飯塚信幸氏（大阪府教育庁文化財保護課）	【12名】
7月24日	「古墳時代における集落祭祀—滑石製品と祭祀—」廣瀬時習（当館副館長兼学芸課長）	【38名】
8月28日	「古市古墳群の非在来系土器」市村慎太郎（当館総括学芸員）	【33名】
9月25日	「津堂城山古墳の築造と周辺集落」笹栗拓（(公財)大阪府文化財センター）	【29名】
10月23日	「古墳時代の石製品と玉」久永雅宏氏（大阪府立狭山池博物館）	【39名】
11月27日	「玉からみた古墳時代」廣瀬時習（当館副館長兼学芸課長）	【58名】
12月18日	「古市古墳群の小規模墳」市村慎太郎（当館総括学芸員）	【30名】
1月22日	「古代オホーツク文化へのいざない」塚本浩司（大阪府立弥生文化博物館）	【51名】
2月26日	「オホーツクの暮らし」島崎久恵（当館総括学芸員）	【51名】
3月26日	「百舌鳥・古市古墳群の玉」廣瀬時習（当館副館長兼学芸課長）	【25名】

【合計10回・366名】

## (3) 河南町教育部（河南町公民館）「かなん文化財講座」

地元市町村と協力して文化講座を当館で開催した。

10月27日（水）	「弥生時代から古墳時代初めの「やきもの」から食生活を探る」	【10名】
1月26日（水）	「やきものからみた古墳時代」	【8名】
2月16日（水）	「近世の「やきもの」～武家屋敷のごみ穴から～」	【12名】
	（れきしウオーク11月14日（日）「橿原市新沢千塚古墳群を歩く」	【9名】

【合計3回・30名】

## 3. 「府民が参加する博物館」事業

### (1) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場を利用して、地元高校生の軽音楽部の発表、他学校との交流の場として開催した。但

し、4月29日（木・祝）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館につき中止した。

11月3日（水・祝）参加校 大阪府立河南高等学校・大阪府立藤井寺高等学校・大阪府立大塚高等学校・大阪府立富田林高等学校・大阪暁光高等学校・大阪府立長野高等学校

【参加者 190名】

## （2）古墳時代まつり「春の博物館であそぼう」

豊かな自然を持つ風土記の丘を活用し、ウォークラリー・勾玉づくり・森の工作などの開催を5月3日（月・祝）に計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館中につき中止した。

## （3）うめまつり

風土記の丘の梅開花にあわせて、体験や物販販売等、地元団体と連携したイベントの実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

## （4）さくらまつり

風土記の丘の桜開花にあわせて、体験や物販販売等、地元団体と連携したイベントの実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

## （5）博物館バックヤード探検ツアー

親子、また一般を対象に、博物館により親しみを持っていただくため、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から5月は実施を中止した。

7月31日（土）・11月23日（火・祝）・2月5日（土）

【合計3回 64名】

## （6）風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを計画・実施した。但し、5月については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

11月6日（土）

【1回 12名】

## （7）近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援、生涯学習の発表の場として、博学連携の成果等も含めて、絵画・写真等の展示を行なった。

7月24日（土）～8月22日（日）

【4,476名】

聖徳太子没後1400年記念「たいし郷土カルタ」展 太子町観光課

10月2日（土）～10月31日（日）

【5,782名】

「LINEフォト・コンテスト」大阪府立近つ飛鳥博物館

11月12日（金）～11月28日（日）

【5,400名】

南河内東部小学校「児童はにわ展」 河南町立かなん桜小学校・河南町立近つ飛鳥小学校・太子町立磯長小学校・太子町立山田小学校・千早赤阪村立赤阪小学校・千早赤阪村立千早小吹台小学校

1月8日（土）～1月23日（日）

【2,783名】

歴史文化写生会「野中寺を描こう」羽曳野市立陵南の森公民館

2月5日（土）～2月13日（日）

【2,648名】

大阪芸術大学芸術計画学科企画展示「翠光を纏う時空一勾玉は目覚め、明日を照らすー」大阪芸術大学芸術計画学科

2月20日(日)～3月13日(日)

【9,750名】

「このこのアート展～児童絵画作品展～」マコム・プランニング株式会社

【合計6回】

#### (8) ボランティアの募集・活用、地域ボランティア、各種団体との協働

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習などの事業等、幅広い分野への支援活動を行った。ただし、上半期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を休止した。 【合計9回 47名】

### 4. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

#### (1) 校外学習受入れ・体験学習

校外学習を積極的に受入れた。展示物の見学だけではなく、勾玉工房等のワークショップ、風土記の丘(一須賀古墳群)のウォークラリーを実施した。

〔幼稚園〕星の光幼稚園

〔小学校〕〈大東市〉住道北小学校〈堺市〉三宝小学校〈貝塚市〉津田小学校〈羽曳野市〉古市小学校〈太子町〉山田小学校〈千早赤阪村〉赤阪小学校・千早小吹台小学校〈府立〉西浦支援学校

〔中学校〕太子町立太子中学校・帝塚山学園泉ヶ丘中学校・田園調布学園中学校・大和高田市立高田中学校(特別支援学級)

〔高等学校〕大阪府立茨木高等学校・大阪府立西浦支援学校・大阪府立交野支援学校・大阪府立八尾支援学校・関西福祉大学附属高等学校

【合計18校 入館1,197名・勾玉5件・ペーパークラフト1件・ウォークラリー9件】

#### (2) 出前授業

小学校、中学校、高等学校に教育専門員・学芸員が出向き、ワークショップ(体験学習)を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努めた。

〔小学校〕〈守口市〉さくら小学校〈枚方市〉樟葉北小学校・明倫小学校・中宮小学校〈大東市〉住道北小学校〈大阪市〉南百済小学校・森之宮小学校・南住吉小学校(2回)・焼野小学校・加賀屋小学校・大國小学校・中央小学校・日吉小学校・南港光小学校・今川小学校・九条東小学校・中津小学校・柏里小学校・豊仁小学校・大領小学校・平野小学校・神路小学校〈松原市〉天美小学校・中央小学校〈八尾市〉高美南小学校〈堺市〉竹城台小学校・さつき野小学校・黒山小学校・錦綾小学校〈和泉市〉緑ヶ丘小学校〈岸和田市〉山直北小学校〈貝塚市〉二色小学校・津田小学校〈太子町〉磯長小学校(2回)〈河南町〉かなん桜小学校・近つ飛鳥小学校〈千早赤阪村〉千早小吹台小学校・赤阪小学校〈府立〉西浦支援学校

〔中学校〕履正社中学校・清教学園中学校・大東市立谷川中学校(2回)

【42校45回2,817名】

#### (3) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用促進を促した。

#### (4) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。教員研修では学校教育での博物館施設の活用連携を深めた。

2月4日(金)大阪府公立中学校社会科教育研究会

## (5) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。  
指令書の配布

## (6) 大学生博物館学実習および芸術大学実習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。また、大阪芸術大学のさまざまな実習の場として支援した。

4月5日(金) 大阪芸術大学文芸学科「フレッシュマンキャンプ」 【96名】

7月29日(木) 大阪芸術大学工芸学科「展示見学・解説講座」 【49名】

8月11日～8月15日(日) 博物館実習 ※8月12日(午後)14・15日は警報発令につき中止。

(補講)8月19日(木)、8月28日(土)、9月11日(土) 【11大学27名】

## (7) 大学生・高校生・中学生の職場体験学習

大学生・高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考となる体験を支援した。

8月6日(金) 大阪府立今宮高等学校「考古学入門」 【7名】

3月23日(水) 私立和光高等学校「日本古代史研究旅行」 【17名】

## (8) 地元大学との連携

大阪芸術大学と博学連携活動の場として提供した。

6月25日(金) 大阪芸術大学芸術計画学科「プロジェクト演習Ⅰ・プロジェクト演習」 【5名】

11月5日(金) 大阪芸術大学芸術計画学科「プロジェクト演習Ⅰ・プロジェクト演習」 【15名】

2月5日(土)～2月13日(日) 【見学者2,648名】

大阪芸術大学芸術計画学科企画展示「翠光を纏う時空一勾玉は目覚め、明日を照らすー」

大阪芸術大学芸術計画学科

## 5. 「どこでも博物館」事業

### (1) れきしウォーク（現地見学会）

学芸員の案内による実地での遺跡見学会を実施し、大阪の歴史を学び、来館の機会につなげるため、各展覧会に関わる見学会の他、大阪府内周辺各地の見学会を実施した。

5月8日(土) 白鷹 緑水苑ウォーク「歴史探訪 久米古墳群と摩湯山古墳」 【14名】

9月11日(土) 白鷹 緑水苑ウォーク「歴史探訪 達磨寺とその周辺(奈良県王寺町)」 【13名】

9月26日(日) れきしウォーク「枚方の古墳をめぐる」 【41名】

11月14日(土) かなん文化財講座「橿原市新沢千塚古墳群を歩く」 【9名】

11月20日(土) 現地見学会「岸和田の古墳を歩く」(秋季特別展関連) 【49名】

10月16日(土) 白鷹 緑水苑ウォーク「歴史探訪 亀瀬越道(奈良街道)を歩く」 【18名】

1月8日(土) 白鷹 緑水苑ウォーク「歴史探訪 東高野街道を歩く」 【14名】

3月20日(日) れきしウォーク「古市古墳群南群の古墳をめぐる」 【45名】

### (2) 出張講座・ワークショップ

公民館等へ出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、地域における歴史遺産の普

及活動や成人の生涯学習支援を行った。また、近鉄グループ等と連携し、近鉄文化サロンのような講座等を共同で実施し、広報や企画に関して民間の視点から協力を得た。

#### ①近鉄文化サロン出張講座

7月15日(木)	「土器のライフサイクル」	【32名】
10月21日(木)	「住居の廃絶をめぐって」	【31名】
1月20日(木)	「玉の呪力と用途」	【43名】
3月20日(木)	「木簡からみた贅の貢進」	【44名】

#### ②四天王寺大学出張講座

9月21日(火)	歴史・文化・観光特殊講義「考古学」	考古学とは何か?	【24名】
11月2日(火)	歴史・文化・観光特殊講義「考古学」	古墳時代の考古学(1)	【24名】
11月9日(火)	歴史・文化・観光特殊講義「考古学」	古墳時代の考古学(2)	【24名】
11月16日(火)	歴史・文化・観光特殊講義「考古学」	古墳時代の考古学(3)	【24名】
12月7日(火)	歴史・文化・観光特殊講義「考古学」	飛鳥・奈良・平安の考古学	【24名】
1月11日(火)	歴史・文化・観光特殊講義「考古学」	日本と世界の考古学	【24名】
1月18日(火)	歴史・文化・観光特殊講義「考古学」	近・現代の考古学とまとめ	【24名】

#### ③その他出張講座

5月22日(土)	田原本町唐古・鍵ミュージアム「春季企画展関連講演会」	【77名】
2月19日(土)	堺市世界遺産室「百舌鳥古墳群魅力発掘講座「大阪の古墳と古墳群」」	【29名】

#### ④出張ワークショップ

8月22日(日)	近鉄百貨店「勾玉をつくろう」	【1名】
12月26日(日)	守口市生涯・スポーツ振興課「親子!!勾玉づくり」	【34名】
3月5日(土)	富田林中高一貫校「学びと育ち」地域フォーラム	【60名】

#### ⑤出前授業

7月4日(日)	近鉄百貨店サマーキャンパスまなぼスタジオ 「はにわ貯金箱をつくろう」	【4名】
7月18日(日)	堺市都市緑化センター「埴輪づくり」	【11名】
7月31日(土)	まなりんく協議会「埴輪づくり」道明寺天満宮	【15名】
8月7日(土)・8日(日)	島本町教育委員会「親子で勾玉づくり体験」	【2回 計117名】
9月23日(木・祝)	旧河澄家住宅「埴輪づくり体験」	【21名】

#### (3) 大阪市内等での講演会

当館の活動の府民等への周知と百舌鳥・古市古墳群世界遺産への府民の理解の醸成をはかるため、講演会等の企画を検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止ため今年度は中止した。

#### (4) 出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張ミニ展示を行った。他地域の博物館・資料館との連携による展示を行い、歴史教育の一助とすると共に、当館の認知度アップにもつなげた。

7月24日(土)～8月29日(日)

でかける博物館 in 滋賀県立安土城考古博物館「残された表情 顔」 【3,778名】

11月6日（土）～12月19日（日）

高槻市立今城塚古代歴史館・大阪府立近つ飛鳥博物館連携企画「群集墳の様相―塚原古墳群と一須賀古墳群―」 【6, 273名】

2月22日（火）～5月8日（日）

でかける博物館出前展示「船橋遺跡をさぐる―古代河内の中心と役人たち―」 【14, 005名】

## 6. 「体験する博物館」事業

### （1）夏休み子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、リサイクル資材などを活用した工作室の開催を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

### （2）子ども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを実施した。

8月1日（日）・8月21日（土） 【参加者合計 28名】

### （3）子どもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施した。

10月16日（土） 「まわる鳥」 【52名】

11月20日（土） 「新幹線」 【40名】

11月21日（日） 特別編（展示関連企画）「古代の首飾り―ペーパービーズづくり―」 【64名】

12月18日（土） 「寅（とら）の額縁（がくぶち）」 【38名】

1月15日（土） 「フニャフニャ凧」 【39名】

2月19日（土） 「不思議なボトル」 【31名】

3月19日（土） 「エキサイティング バスケットゴール」 【45名】

## 7. 企業との連携事業

### （1）遺跡見学ツアー

旅行会社や鉄道会社と連携し、博物館周辺の遺跡と博物館を見学するツアーや遠方へのツアーの共同企画を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

## 8. 広報普及事業

### （1）機関紙「博物館だより」（アスカディア・古墳の森）の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

『博物館だより』55号 9月30日刊行 4,000部

『博物館だより』56号 3月31日刊行 4,000部

### （2）近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

館のテーマに沿った研究報告、博物館活動についての報告や年間事業記録などを掲載する館報を刊行した。

『館報』25号 3月31日刊行 1,000部



### (3) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。3か月単位のミュージアムカレンダーを作成し配布した。

『イベント カレンダー』 2021年 4月～6月号

『イベント カレンダー』 2021年 7月～9月号

『イベント カレンダー』 2021年 10月～12月号

『イベント カレンダー』 2022年 1月～3月号

「月例講座案内チラシ」上半期・「月例講座案内チラシ」下半期

南河内東部小学校「児童はにわ展」チラシ（11月の体験イベント案内兼）

でかける博物館 in 滋賀県立安土城考古博物館・大阪府立近つ飛鳥博物館チラシ兼リーフレット

でかける博物館「船橋遺跡をさぐるー古代河内の中心と役人ー」チラシ兼リーフレット

### (4) 校外学習・出前授業等の利用促進

小・中学校および高等学校の校外学習や出前授業等での利用を促すため、個別訪問他、校長会等を通じて案内活動を行った。令和3年度は特に、近隣町村の小学校や富田林市・大東市の小学校校長会へ出席して、館事業のPRを行った。また、府内全域の小学校へ当館および校外学習・出前授業の案内を送付した。

【個別訪問・校長会等学校数 61 件】

### (5) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて情報を提供した。

【ミニコミ誌等掲載 35 回】

### (6) 広報の強化

近隣市町村の協力を得て、広報誌等に当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的な広報を行った。また、新聞等の有料広告を効果的に活用した。インターネットの博物館情報サイト等の活用や、共同運営を行う近鉄ビルサービス株式会社のグループとの連携により、関連施設での広報展示、パンフレットへの掲載等、より効果的な広報活動を展開した。

報道提供

【3回】

自治体広報誌

【情報提供掲載回数 30 回】

新聞紙面掲載

【有料広告 2 件 3 回、その他掲載 16 回】

近鉄文化サロン等への配架ならびに講座における配布

### (7) ホームページの充実

常設展・特別展・企画展・特別陳列の情報・博物館催し物案内、臨時休館等の博物館情報などを、近つ飛鳥博物館ホームページ、フェイスブック・LINE等のSNSを活用した情報発信に努めた。

ホームページ、フェイスブックでは、展示会のPR動画、紹介・解説動画のほか、子供向け工作体験動画を行った。また、臨時休館のため開催できなかった講演会の録画配信を行った。また、外国人来館者にも対応できるよう、外国語による情報もホームページ等で行った。

【ホームページ更新回数 85 回・フェイスブック更新回数 96 回・LINE 更新回数 24 回】

### (8) 動画等の配信

展覧会の解説動画等をホームページやYouTubeに公開し、インターネット上で配信を行った。

## ① 展覧会解説動画

【配信件数 13 件】

- 春季特別陳列紹介動画 Vol. 1、Vol. 2、Vol. 3、Vol. 4
- 夏季企画展PR動画 第1弾、第2弾
- 秋季特別展展示解説 第1弾、第2弾
- 秋季特別展 副館長がご案内！1、2
- 冬季特別展PR動画1、冬季特別展展示室のご紹介①、②

## ② 講演会

- 春季特別陳列オンライン講演会 第1部・第2部・第3部（合計3動画）

## ③ 行事等

- オンライン6月子どもファーストデイ 第1弾
- オンライン8月子どもファーストデイ 第2弾 くびふり恐竜のつくりかた
- 3月19日子どもファーストデイ

## 9. 研究事業

### (1) 他博物館等と連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業の開催など、相互協力した事業を計画したが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡散防止の観点から行事等は中止し、情報の共有に努めた。

### (2) 国内・海外の研究者との学術交流

本年は、新型コロナウイルス感染症の状況から国内研究者のみであったが、企画展示などを通して積極的な交流を行った。また、このほかにも Zoom 等のオンラインでの打ち合わせや意見交換なども積極的に行った。

【研究交流 140 件 289 名（国内 289 名・国外 0 名）】

### (3) 客員学芸員制度

展示企画・研究活動について実務面で人的な協力体制をつくり、より充実したものとするため、客員学芸員 1 名を委嘱した。企画展示に伴う図録等の執筆をすると共に、行事等の実施への協力や、出前講座、月例講座等での講師など、普及事業、研究などにおいて協力を仰いだ。

### (4) 研究成果の発表

論考 6 本、博物館活動報告 1 本、事業報告を掲載した『館報』25 号を刊行したほか、歴史関連書籍への執筆などを行った。

『館報』25 号 令和 4 年 3 月 31 日刊行

『復元模型でみる日本の歴史』 令和 3 年 9 月刊行「仁徳陵古墳模型」「聖徳太子墓模型」執筆

### (5) 全国風土記の丘協議会への参加

毎年、協議会へ出席し、各地の風土記の丘の活用について情報収集を行っているが、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となった。

## 10. 資料調査収集・製作・管理事業

### (1) 図書資料管理・収集

学術図書の計画的購入等、資料管理し、収集に務めた。各博物館・各都道府県・市町村から寄贈された図書を登録し、書庫へ配架を行っている。また来館者に文化財に関しての研究・探究心を深めていただくため、普及啓発用図書や学術図書を計画的に購入し書籍閲覧コーナーの充実に努めた。

【登録図書数 1,985 冊】

### (2) 館蔵資料の管理、学術的整理、保管

所蔵資料の適切な管理を実施する。重要文化財「修羅」、紫金山古墳、南塚古墳出土品などについては、所蔵者、研究機関を交えた定期的な点検を実施した。また、館蔵資料の観察記録作成などの資料整理を行った。

2月17日(木) 国指定重要文化財「修羅」定期点検

2月21日(月) 京都大学考古学研究室「紫金山古墳・南塚古墳出土品」点検

### (3) 館蔵資料の貸出し・資料調査

保管する収蔵資料を幅広く活用するために、他の博物館等からの要請により、実物資料および写真資料の貸出を行った。

館蔵資料貸出件数：3件

館蔵画像貸出件数：61件

館蔵品資料調査件数：7件

## 11. サービス事業

### (1) マーケットリサーチ、満足度調査の実施

来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とするためアンケートを予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、通年のアンケート調査を中止し、2日限定でアンケートを実施した。また、昨年度の満足度調査の結果をホームページに掲載した。

#### 【意見と対応】

・インターネット環境の構築や、それらを利用した解説や多言語への要望等。

⇒令和2年度に「OSAKA Free-Wifi」の整備がなされ、QRコードを利用したインターネットアクセスによる近つ飛鳥の文化遺産や世界遺産百舌鳥・古市古墳群に関わる展示品の多言語解説が可能になった。

令和3年度、利用の促進に向けてテスト及び機器等の調整やスタッフの研修等を行い、これらの設備の安定的な運用を開始し、館内環境・展示解説を改善した。

### (2) 相談コーナーの設置

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実物資料に触れることができるコーナーや土器パズル等の関連器具等の設置を見送った。来館者からの文化財に対する様々な疑問については、常設の相談コーナーの開設は見送ったものの、受付等を窓口にして対応し、必要に応じて学芸員が対応した。

### (3) 障がい者等への利用援助

例年、支援学校の校外学習に際して柔軟な対応で解説や体験メニューを実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から体験メニューの実施は見送る場合も多かったが、障がい者の健康

面に配慮し、機器用電源や休憩室を必要に応じて確保するなど丁寧な対応に努めた。

#### (4) 子どもにもわかりやすい解説

各展覧会で子ども向け解説パネル・リーフレット等を提供した。

各展覧会で「知りたイヌ」「クマ先生」の解説パネルを作成した。

【パネル枚数 28 枚】

#### (5) 音声ガイドの無料貸出

常設展示の日本語（一般・児童）の他、英語・韓国語・中国語を用意し、外国人利用者へも配慮した。特別展・企画展においては日本語解説を作成し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行って貸し出した。

#### (6) 解説シートの作成

今年度は、展示観覧の補助となる解説シートを夏季企画展（2枚）・秋季特別展（2枚）で作成したほか、冬季特別展ではリーフレットに解説シートの役割を付加したものを作成した。

## 12. 研修事業

### (1) 学芸研修

今年度は、公開承認施設連絡会議・全国博物館館長会議ともオンラインでの実施となったため、職員の研修や博物館管理・運営の参考のため複数名がオンライン会議を視聴した。

6月1日（火）全国博物館館長会議（第28回）

6月3日（木）公開承認施設連絡会議

### (2) 人権研修・消防訓練研修

職員の人権研修を実施すると共に、消防計画に基づいて自衛消防訓練を実施した。

12月25日（土）人権研修・自衛消防訓練

## 13. 施設管理事業

### (1) 日常的管理

指定管理共同企業体の近鉄ビルサービスと共に、施設管理年間計画を策定し、定期点検等、施設管理を行った。また、経年劣化等により修繕が必要な箇所を抽出し修繕を行うと共に、所管課に改善の提案を行った。

### (2) 修繕

急を要するものや来館者の満足度向上に資すると思われるものについて、適宜修理等を提案し、実施した。

- ・24時間系統パッケージエアコン室外機フィン洗浄
- ・男子トイレ便座交換
- ・消火器更新
- ・デジタルミキサー設置
- ・消防設備不良箇所（防排煙設備）改修
- ・駐車場区画線引き直し
- ・敷地内道路路面改修
- ・ホール吹抜けトップライト清掃
- ・土器パズル修理

### (3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みて、各事業の内容・回数・実施方法を検討し、開催に努めた。開催にあたっては、マスクの着用、検温、手指の消毒、ソーシャル・ディスタンスの確保、換気等を行った。

## 14. 近つ飛鳥風土記の丘の管理事業

### (1) 日常的管理

園路及びみどりの広場の草刈り及び清掃、園内施設の清掃等を実施した。損壊、損傷等の行為に係る点検を行った。また、劣化等により修繕が必要な箇所を抽出し、所管課に改善の提案を行った。

### (2) 修繕

急を要するものや来館者の満足度向上に資すると思われるものについて、適宜修理等を提案し、実施した。

- ・園路マンホール廻り段差改修
- ・来園者カウンター用センサー配線補修
- ・汚水処理施設フロア用マグネットスイッチ交換
- ・給水ポンプユニット取替
- ・入口落ち葉対策（強剪定）
- ・駐車場区画線引き直し
- ・園路から奥池までの通路整備（暗渠管の浚渫等）

## 15. 入館者数及び入館料一覧

(令和3年度)

区 分	入館者数 (名)					入館料 (円・税込)	開館 日数 (日)	風土記の丘 利用者数 (名)
	展示室			普及 ゾーン	総数			
	有料	無料	計					
常 設 展	3,084	1,445	4,529	16,367	20,896	817,630	109	
割合 (%)	31.5	16.3	24.3	38.8	34.3			
春季特別陳列	30	20	50	192	242	8,400	1	
割合 (%)	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4			
夏季企画展	1,592	1,702	3,294	4,430	7,724	572,400	42	
割合 (%)	16.3	19.1	17.6	10.5	12.7			
秋季特別展	2,345	3,262	5,607	9,070	14,677	1,196,330	50	
割合 (%)	23.9	36.7	30.0	21.5	24.1			
冬季特別展	2,741	2,459	5,200	12,146	17,346	1,441,650	50	
割合 (%)	28.0	27.7	27.8	28.8	28.5			
合計	9,792	8,888	18,680	42,205	60,885	4,036,410	252	
割合 (%)	100	100	100	100	100			

<年度比較>

令和2年度 実績	9,101	6,034	15,135	40,808	55,943	2,725,980	257	114,508
令和元年度 実績	14,661	12,380	27,041	52,224	79,265	5,176,720	258	97,302
平成30年度 実績	14,235	17,306	31,541	64,470	96,011	4,882,670	304	89,287

※臨時休館

4月25日(日)～6月20日(日) 49日間 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため  
 8月9日(月・祝) 午後 暴風警報発令のため  
 8月12日(木) 午後 大雨(土砂災害)警報発令のため  
 8月14日(土)・15日(日) 大雨(土砂災害)警報発令のため  
 12月24日(金)～26日(日) 設備点検・メンテナンスのため

## VI. 泉佐野市立歴史館いずみさの事業

### 1. 展示公開事業

4月25日（日）～6月20日（日）、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館とした。

#### (1) 常設展示

泉佐野を代表する歴史遺産である中世荘園の日根荘の時代をテーマにした展示をした。その時代の人びとのくらしなどを当時の絵図や日記、荘園模型をもとに紹介した。

#### (2) 特別展・企画展

新規の来館者の裾野を広げると共に、来館者の歴史文化に対する知的満足度をさらに高めるため、特別展・企画展を下記のとおり開催した。

##### ① 春季企画展「絵図を読む」

【入館者数：394名 14名／日】

###### ア. 開催趣旨

当館では泉佐野の歴史を語る貴重な絵図を所蔵している。今回の展示では、これら地域に根差した地域史の証人、絵図に注目した。古来より村々では、さまざまな資源の利権をめぐる多くの争論があった。中世以降、その解決策のひとつとして絵図が作成され、絵図の中に権利や主張を記したり、境界を明示したりすることで合意が図られた。その後、近代を迎えて行政区画も変わり、街の姿も大幅に変貌していった。その節目に作成された絵図も併せて展示し、私たちの郷土、泉佐野がたどった姿を今一度振り返った。

イ. 開催期間 4月29日（木・祝）～7月25日（日）

【会期29日間】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月25日（日）～6月20日（日）臨時休館

##### ② 秋季特別展「いのりよ、とどけ」

【入館者数：1,331名 25名／日】

###### ア. 開催趣旨

熊野信仰、葛城修験など様々な信仰が今なお残る泉佐野市。熊野信仰は、熊野修験と深く結びついた熊野権現を主として祀る自然信仰であり、葛城修験は役行者創建とされる修験霊場を中心とした山岳信仰と修験道が融合したものである。こうした信仰には、必ず現世利益に関する経典や修法が付随し、これらの信仰が残した資料は、当時の人びとの思いが形となって残ったものである。これまでスポットが当たらなかった雨乞いや火除け、無病息災、家内安全などを祈った民間のまじないや修験資料などの信仰資料を展示し、泉佐野の人びとがどのような信仰を抱き、何に祈り、何を祀っていたのかを紹介した。

イ. 開催期間 10月9日（土）～12月12日（日）

【会期54日間】

##### ③ 冬季企画展「むかし なつかし 昭和のくらし」

【入館者数：1,305名 24名／日】

###### ア. 開催趣旨

昭和から平成、そして令和へ。時代が移り変わると共に、私たちのくらしや街の風景は日々変化してきました。特に昭和という時代は今の私たちのくらしの基礎が築かれた時代であり、とりわけ昭和20年代以降、戦後の復興や高度経済成長により人々のくらしはモノであふれ、便利で豊かになった。また、マスメディアの発達によりレコードや映画といった娯楽はさらに大衆化し、スターの誕生に人々は熱狂した。本展示では、特にめざましい成長を遂げた昭和30～40年代を象徴する生活用品や文化、街の活況を伝える資料を中心に展示し、平成・令和につながる私たちのくらしを振り返った。

イ. 開催期間 令和4年1月15日(土)～3月21日(月・祝)

【会期55日間】

### (3) エントランスホール展示

#### ① 日本遺産ガイドセンター

日根荘の日本遺産認定に関連して、令和2年度に設置されたガイドセンターにおいて、市民や来館者を対象に日根荘に関する知識や現地見学の便を図った。

#### ② 歴史館ギャラリー(市民連携活動)

市民の創作活動を発表とする場、他自治体と連携した展示を歴史館ギャラリーとし、絵画、写真等の作品展を自主事業として随時実施した。

#### ミニ展示「衣通姫イラスト原画巡回展2021」

【入館者数:344名 14名/日】

##### ア. 開催趣旨

泉佐野市上之郷には、「日本初絶世の美女・衣通姫」伝承が残っている。また「小倉百人一首」の和歌では「和歌の神様」とも言われている。本展示では、令和2年度観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業である「西のアニメの新聖地!～衣通姫アニメツーリズムと和歌大会」に関連し、西のアニメーションキャラクターデザイナー4名によって衣通姫を題材に描かれた作品の原画を展示した。

イ. 開催期間 9月1日(水)～9月29日(水)

【会期:25日間】

#### ミニ展示「日本遺産『葛城修験』リレーパネル展示会」

【入館者数:128名 21名/日】

##### ア. 開催趣旨

泉佐野市には、修験道の開祖とされる役行者が法華経を1品ずつ埋納したとされる28の経塚のうち、第八経塚が存在する。本展示では、令和2年6月に日本遺産に認定された「葛城修験一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」をPRするため、協議会の構成市町村をリレー形式で巡回するパネル展示会を行った。

イ. 開催期間 令和4年2月15日(火)～2月20日(日)

【会期:6日間】

#### ③ 図書閲覧コーナー

郷土史の理解を深めるため、郷土の歴史文化を中心とした図書を自由に閲覧できるコーナーを設けた。

## 2. 講演会事業

### (1) 館長講演会

年に2回、坂井秀弥館長による講演会を行った。

8月28日(土)「日本遺産と文化財のいま」

【参加者数:21名】

12月18日(土)「世界遺産の広がりと日本の取組み」

【参加者数:12名】

### (2) 特別展・企画展関連の講演会

特別展・企画展のテーマに沿って、来館者の歴史文化に対する関心を高めるなど、生涯学習のきっかけづくりのために、講演会を開催した。新型コロナウイルス感染症防止対策として定員を抑え、同一内容を複数回実施した。

#### ① 春季企画展講演会

6月5日(土)「絵図で見る泉佐野」 細田慈人(当館学芸員)

【中止】



②春季企画展古文書講座 「展示史料を読む」全2回

- 第1回 6月19日(土)「絵図を読む」 細田慈人(当館学芸員) 【中止】  
第2回 6月26日(土)「絵図を読む」 細田慈人(当館学芸員) 【中止】

③秋季特別展開催記念講演会

- 10月24日(日)「人々のいのりとまじない～泉佐野の信仰資料～」  
細田慈人(当館学芸員) 【参加者数：32名】

④秋季特別展古文書講座 「展示史料を読む」全2回

- 第1回 12月5日(日) 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数：23名】  
第2回 12月12日(日) 細田慈人(当館学芸員) 【参加者数：22名】

(3) 歴史学講座

①歴史学講座 文化史編「年中行事と祭祀」全2回 細田慈人(当館学芸員)

※令和元年度に新型コロナウイルス感染症拡大防止の緊急事態宣言により中止したものを。

- 第1回 4月18日(日) 「年中行事の由来と宮廷文化」 【参加者数：15名】  
第2回 5月1日(土) 「平安時代の五節供と神事・仏事」 【中止】

②歴史学講座 文化史編「貴族社会と信仰・文化」全8回 細田慈人(当館学芸員)

貴族の文化や行事、儀礼にどのような思想や信仰が影響を与えたのか、貴族社会における文化・行事・儀礼を中心に思想・信仰の関係について紹介した。

- 第1回 5月26日(水)、5月29日(土)「貴族社会と神仏習合」 【中止】  
第1回 7月28日(水)、7月31日(土)「貴族社会と神仏習合」(延期分) 【参加者数：計37名】  
第2回 6月9日(水)、6月27日(日)「貴族社会の病とまじない」 【中止】  
第2回 8月25日(水)、8月27日(金)「病と医療」(貴族社会の病とまじない延期分) 【参加者数：計26名】  
第3回 7月10日(土)、7月14日(水)「貴族社会と星の信仰」 【参加者数：計28名】  
第4回 8月11日(水)、8月14日(土)「中世の葬送と職能」 【参加者数：計34名】  
第5回 12月17日(金)、12月22日(水)「貴族社会と陰陽道の浸透①」 【参加者数：計38名】  
第6回 1月12日(水)、1月15日(土)「貴族社会と陰陽道の浸透②」 【中止】  
第6回 2月11日(金)「貴族社会と陰陽道の浸透②」延期分 【参加者数：34名】  
第7回 2月13日(日)「雨乞信仰と雑芸民①」 【参加者数：31名】  
第8回 3月9日(水)、3月12日(土)「雨乞信仰と雑芸民②」 【参加者数：計49名】

③文化史編「九条家と信仰・思想」全4回 細田慈人(当館学芸員)

日根荘の領主であった九条家。撰関家の一つである九条家の当主たちがどのような信仰をもち、何を願い、何に祈りを捧げていたのか、九条家の信仰・思想について取り上げた。

- 第1回 9月14日(火)、9月17日(金)「九条兼実と災異思想」 【参加者数：計41名】  
第2回 10月12日(火)、10月15日(金)「九条良経と革命・革命改元」 【参加者数：計41名】  
第3回 11月9日(火)、11月12日(金)「九条道家と陰陽師」 【参加者数：計35名】  
第4回 11月23日(火)、11月26日(金)「九条政基と陰陽道」 【参加者数：計44名】

④歴史学講座 寺院編「根来寺のみほとけ」大松さやか(当館学芸員)

令和2年度に開催し好評であった、根来寺に祀られている三尊像の読み解き方や歴史的背景に迫った本講

座を再度開催の予定であったが臨時休館のため中止となった。

5月21日（金）、5月30日（日）

【中止】

⑤歴史学講座 寺院編「中世寺院の『僧兵』」 大松さやか（当館学芸員）

僧侶でありながら武装する「僧兵」は江戸時代以降、悪の存在として批判された。そのようなイメージを再考し、「僧兵」とは何者なのかを考えた。

7月16日（金）、7月17日（土）、7月20日（火）

【参加者数：計40名】

⑥歴史学講座 寺院編「『僧兵』の終焉—紀州攻めと根来衆—」 大松さやか（当館学芸員）

中世社会において姿を見せた「僧兵」は、秀吉の紀州攻めにより根来寺が焼かれて以降、その姿を消した。本講座では、根来寺を中心に「僧兵」の終焉を考えた。

9月26日（日）、9月28日（火）

【参加者数：計39名】

⑦副館長特別講座 西村 歩（当館副館長）

城郭鑑賞の理解を深めるため、その歴史の変遷や城郭の建築学的構造について、連続講座を行った。

第4回 6月12日（土）、6月13日（日）、6月15日（火）「城郭観賞の基礎知識」

【中止】

10月2日（土）、10月3日（日）「城郭観賞の基礎知識～縄張と石垣～」

【参加者数：計41名】

第5回 3月13日（日） 「城郭観賞の基礎知識」

【参加者数：33名】

（4）学芸員の出張講演・講座

歴史館いずみさのの知名度アップを図り、多くの方々の来館を促進するため、他施設からの依頼に応じて出張講演等を実施した。

①近鉄文化サロン 考古学からみる古代の生活 8

6月17日（木）「くじ引きと占い・神判」 細田慈人（当館学芸員）

【参加者数：30名】

8月19日（木）「辻占・橋占・チマタの占い」 細田慈人（当館学芸員）

【参加者数：24名】

②佐野公民館

8月7日（土）「寺院の歩き方」 大松さやか（当館学芸員）

【参加者数：20名】

1月8日（土）「和泉監とその時代～和泉地方の古代～」 西村 歩（当館副館長）

【参加者数：20名】

3月5日（土）「泉佐野の新田開発」 細田 慈人（当館学芸員）

【参加者数：23名】

③日根荘を知る会 日根荘勉強会

10月10日（日）「荘園のキホン～日根荘ってなに？～」 細田慈人（当館学芸員）

【参加者数：45名】

11月21日（日）「日根荘の地名について①」 細田慈人（当館学芸員）

【参加者数：40名】

12月26日（日）「日根荘時代の名残 日根荘地名の初出～寺社について～」 細田慈人（当館学芸員）

【参加者数：42名】

3月13日（日）「慈眼院の成り立ち」 細田慈人（当館学芸員）

【参加者数：28名】

④岩出市民俗資料館

11月3日（水）「大伝法堂三尊像と根来寺の歴史」 大松さやか（当館学芸員）

【参加者数：30名】

⑤りんくう泉佐野ロータリークラブ

11月10日（水）「仏像の基本」 大松さやか（当館学芸員）

【参加者数：13名】

⑥長滝長生会

12月25日（土）「長滝のくらしと信仰」 細田慈人（当館学芸員）

【参加者数：126名】

### (5) 学芸員による展示解説

講演会講座等開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行うほか、来館者からの要望に応じて随時展示解説を実施した。

#### ① 春季企画展「絵図を読む」

5月1日(土)、6月5日(土)、7月3日(土) 【中止】

6月22日(火)、6月29日(火)、7月15日(木)、7月17日(土)、7月20日(火)、7月22日(木)

【参加者数：計13名】

#### ② 秋季特別展「いのりよ、とどけ」

10月24日(日)、11月23日(火)

【参加者数：計32名】

#### ③ 冬季企画展「むかし なつかし 昭和のくらし」

1月29日(土) 「こどもギャラリートーク」 【中止】

1月30日(日)、2月6日(日) 「おとなギャラリートーク」 【中止】

2月12日(土)、3月6日(日) 「こどもギャラリートーク」 【参加者数：計12名】

2月27日(日) 「おとなギャラリートーク」 【参加者数：4名】

3月2日(水) 団体解説 【参加者数：11名】

## 3. 体験学習事業

### (1) 小中学校の団体見学受け入れ

各学校と連携し、学芸員が展示解説を行い、展示室での生徒の学習を支援した。

<泉佐野市>第二小学校、第三小学校、日根野小学校(2回)、日根野中学校 【4校5回：計289名】

### (2) 出前授業

幼稚園児から高校生に至るまで、館や郷土の歴史・民俗に親しみをもってもらうため、学芸員等が学校に出かけ、体験学習等を行った。

<泉佐野市>日新小学校(2回) 【1校2回：計154名】

### (3) 大学・高等学校、その他団体見学受け入れ

大学、高等学校、その他団体を受け入れ、学芸員が展示解説を行った。

<大学>日本女子大学、奈良女子大学 【2校：計13名】

<その他団体>日本史を学ぶオプションの会、くろすびいS、みんなで南の大阪を元気にする会、放課後  
デイサービスびんくイルカ、楽学堺 【5件：計60名】

### (4) 子ども向け体験(れきし館ワークショップ)

毎月2回程度、体験学習事業を開催した。

4月10日(土) 「和とじ本をつくろう！」 【参加者数：20名】

4月24日(土) 「ちぎり絵をつくろう！」 【参加者数：17名】

5月5日(水) 「こいのぼりをつくろう！」 【中止】

5月15日(土) 「貝合わせをつくって遊ぼう！」 【中止】

5月23日(日) 「水引でキーホルダーをつくろう！」 【中止】

6月6日(日) 「つまみ細工で金魚ストラップをつくろう！」 【中止】

6月20日(日)	「投扇興で遊ぼう！」	【中止】
7月4日(日)	「七夕飾り☆吹き流しをつくろう！」	【参加者数：15名】
7月24日(土)	「組紐をつくろう！」	【参加者数：16名】
8月1日(日)	「貝合わせをつくって遊ぼう！」	【参加者数：11名】
8月7日(土)	「水引でキーホルダーをつくろう！」	【参加者数：23名】
8月15日(日)	「つまみ細工で金魚ストラップをつくろう！」	【参加者数：11名】
8月17日(火)	「うちわをつくろう！」	【参加者数：3名】
8月19日(木)	「投扇興で遊ぼう！」	【参加者数：3名】
8月21日(土)	「実習生とつくるわくわくワークショップ 折り染めをしよう！」	【参加者数：7名】
9月4日(土)	「手まりをつくろう！」	【参加者数：11名】
9月23日(木)	「ハーバリウムをつくろう！」	【参加者数：10名】
10月9日(土)	「ダンボール織でコースターをつくろう！」	【参加者数：5名】
10月30日(土)	「ステンドグラス風ハロウィン飾りをつくろう！」	【参加者数：17名】
11月6日(土)	「つまみ細工でブローチをつくろう！」	【参加者数：9名】
11月20日(土)	「屏風をつくろう！」	【参加者数：6名】
12月4日(土)	「カレンダーをつくろう！」	【参加者数：12名】
12月19日(日)	「クリスマス飾り☆天使をつくろう！」	【参加者数：12名】
1月10日(月)	「正月飾りをつくろう！」	【参加者数：7名】
1月22日(土)	「書初め企画 デザイン書道をしよう！」	【参加者数：14名】
1月23日(日)	「泥めんこをつくって遊ぼう！」	【中止】
2月5日(土)	「昔の遊びをしよう！」	【参加者数：6名、団体19名】
2月19日(土)	「うさぎの雛人形をつくろう！」	【参加者数：15名】
2月26日(土)	「脱穀体験をしよう！」	【参加者数：31名】
3月5日(土)	「ホーロー看板風バッチをつくろう！」	【参加者数：6名】
3月19日(土)	「桜のペーパーフラワーをつくろう！」	【参加者数：13名】

#### (5) 冬季企画展関連イベント「昭和歌謡祭」

昭和歌謡のレコード再生会を行った。

1月16日(日)、1月26日(水)、2月18日(金)、2月23日(水)、3月4日(金)、3月21日(月)、  
【2月3日(木)中止】 【参加者数：計58名】

#### (6) いずみさの歴史ウォーク

郷土の史跡や文化財をめぐる歴史ウォークを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症防止のための臨時休館措置のため中止とした。

①5月22日(土) 「絵図の故地をめぐる」 【中止】

#### (7) 市民・各団体連携(でかける歴史館)

他施設において、講演会や体験学習事業等を実施し、歴史館いずみさのの知名度アップを図り、多くの方々の来館を促進した。

①きしわだ自然資料館

#### 4. 資料収集・提供事業

##### (1) 寄贈等された図書の登録

各博物館・市町村等から歴史館へ寄贈等された図書を台帳に登録し、書庫に開架した。

##### (2) 資料等の貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を依頼に応じて、全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用すると共に、各方面へ日根荘をはじめとする泉佐野市に関する情報を発信した。

【資料4件・45点／写真2件・6点】

##### (3) 展覧会、イベント開催のポスターチラシの配布

各展覧会、イベント開催にあわせ、ポスターやチラシを作成し、学校、公民館をはじめ、各機関に配布し、周知を図った。

春季企画展、秋季特別展、冬季企画展

##### (4) 展覧会でのリーフレット・図録等の作成配布

①各展覧会にあわせ、展示資料一覧等の閲覧ガイド・リーフレットを作成し、来館者に配布すると共に、図書館、各地博物館をはじめ、各機関に配布した。

リーフレットの作成 春季企画展、秋季特別展、冬季企画展

②図録の再版 泉佐野市教育委員会の既刊行の図録には、貴重な情報源でありながら在庫がないものや残部わずかのものがあるところから図録の再版を行った。また「政基公旅引付とその時代」は最新の研究動向を追加資料として付録を作成し、印刷した。

平成9年度特別展図録「大坂夏の陣 榎井合戦」

平成13年度特別展図録「政基公旅引付とその時代」

##### (5) 『歴史通信いずみさの』の刊行

館の活動を報告し、博物館に対する市民の理解を得るため、年1回『歴史通信いずみさの』を刊行した。

・歴史通信いずみさの Vol. 34「令和4年度 春季企画展」

##### (6) 歴史館紹介ちらしの配付

出前授業で学校を訪問した際、生徒各々に来館を促すちらしを配付し、小・中学生を中心とする子どもたちが家族で歴史館に来館する動機づけを進めた。

##### (7) 広報活動の活発な展開

館行事を広く周知するため、広報活動を充実した。

①フェイスブック等SNSにリアルタイムに行事の告知や実施報告記事を掲載した。

【フェイスブック投稿：34回】 【ツイッター投稿：40回】

②泉佐野市広報誌『広報いずみさの』に行事を随時掲載した。

・4月号 いずみさの昔と今 第304回「絵図をよむ①～かぶせ絵図、二百二十年前の船岡山周辺～」

・5月号 いずみさの昔と今 第305回「絵図をよむ②～浦浜絵図、海の境界と屋敷利用～」

・6月号 いずみさの昔と今 第306回「絵図をよむ③～村絵図、江戸時代の村の風景～」

・7月号 いずみさの昔と今 第307回「絵図をよむ④～幕府主導の絵図作成事業、国絵図と分間絵図～」

- ・ 8月号 いずみさの昔と今 第308回「夏の風物詩 佐野くどき」
- ・ 9月号 いずみさの昔と今 第309回「第二室戸台風の被害と復旧活動」
- ・ 10月号 いずみさの昔と今 第310回「十二谷池と祭文～風水と水・土のまじない～」
- ・ 11月号 いずみさの昔と今 第311回「中世の民衆と法華経信仰～慈眼院のこけら経～」
- ・ 12月号 いずみさの昔と今 第312回「泉佐野市域の雨乞いの地域差」
- ・ 1月号 いずみさの昔と今 第313回「昭和初期の泉佐野の発展」
- ・ 2月号 いずみさの昔と今 第314回「戦前の佐野町商店街」
- ・ 3月号 いずみさの昔と今 第315回「高度経済成長期の泉佐野と人々の暮らし」

③南海電鉄の情報誌『NATTS』に情報を提供した。

- ・ 7・8月号 春季企画展「絵図をよむ」
- ・ 1・2月号 冬季企画展「むかし なつかし 昭和の暮らし」

④泉佐野市政記者クラブ、新聞社、テレビ局、ミニコミ誌等に情報を提供した。

- ・ J:comりんくう 5月7日（金） さのテレ！「春季企画展」取材
- ・ J:comりんくう 7月21日（水） さのテレ！「春季企画展」取材
- ・ J:comりんくう 10月22日（金） さのテレ！「秋季特別展」取材
- ・ J:comりんくう 1月20日（木） さのテレ！「冬季企画展」取材
- ・ J:comりんくう 2月4日（金） さのテレ！「冬季企画展」取材
- ・ J:comりんくう 2月9日（木） つながるNEWS「冬季企画展」取材
- ・ J:comりんくう 2月19日（土） 「北前船について」取材

⑤泉佐野インターネット放送局「いこらじお」における情報発信番組「いこらde歴史館」に出演し、情報を発信した。

- |         |                     |                     |
|---------|---------------------|---------------------|
| Vol. 1  | 8月2日（月）～8月8日（日）     | 歴史館いずみさの紹介          |
| Vol. 2  | 8月9日（月）～8月22日（日）    | 歴史館イベント情報           |
| Vol. 3  | 8月23日（月）～9月5日（日）    | 歴史館イベント情報           |
| Vol. 4  | 9月6日（月）～9月19日（日）    | 博物館実習ミニ展示・イベント情報    |
| Vol. 5  | 9月20日（月）～10月3日（日）   | 秋季特別展・歴史館イベント情報     |
| Vol. 6  | 10月4日（月）～10月17日（日）  | 秋季特別展・歴史館イベント情報     |
| Vol. 7  | 10月18日（月）～11月7日（日）  | 秋季特別展・歴史館イベント情報     |
| Vol. 8  | 11月8日（月）～11月21日（日）  | 綿の収穫・歴史館イベント情報      |
| Vol. 9  | 11月22日（月）～12月5日（日）  | 歴史館イベント情報           |
| Vol. 10 | 12月6日（月）～12月19日（日）  | 歴史館イベント情報           |
| Vol. 11 | 12月20日（月）～12月29日（水） | 年末年始の休館のお知らせ、日本遺産特集 |
| Vol. 12 | 1月3日（月）～1月9日（日）     | 新春特番                |
| Vol. 13 | 1月10日（月）～1月23日（日）   | 冬季企画展・歴史館イベント情報     |
| Vol. 14 | 1月24日（月）～2月6日（日）    | 歴史館イベント情報           |
| Vol. 15 | 2月7日（月）～2月20日（日）    | 歴史館イベント情報           |
| Vol. 16 | 2月21日（月）～3月6日（日）    | 歴史館イベント情報           |

- Vol. 17 3月7日(月)～3月13日(日) 冬季企画展・歴史館イベント情報  
 Vol. 18 3月14日(月)～3月20日(日) 歴史館イベント情報  
 Vol. 19 3月21日(月)～3月27日(日) 歴史館イベント情報  
 Vol. 20 3月28日(月)～3月31日(木) 歴史館いずみさのの案内

#### (8) 満足度調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケートを設置し、また、講演会ではアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示・講演会への意見等の把握に務めた。

#### (9) 「れきし相談コーナー」の設置

市民からの歴史・考古学に関する質問や相談等にきめ細やかに対応した。

### 5. 人材育成事業

#### (1) 博学連携事業の推進

大学生の学芸員資格取得に伴う博物館実習等の要請を受け入れた。

8月17日(火)～8月21日(土) 近畿大学3・4回生、追手門学院大学3回生、和歌山大学3回生

【計4名】

#### (2) ボランティア活動(市民が参加する歴史館)

広く市民ボランティアを募集し、市民と共に博物館事業を推進した。

ワークショップ補助、資料整理、展示整理補助

【延88回 189名】

### 6. 施設管理事業

#### (1) 資料の保管

展示室、一般収蔵庫、特別収蔵庫の温度湿度を常時監視し、適温適湿の維持に務めた。一般収蔵庫と特別収蔵庫においては燻蒸処理を年1回実施した。 【燻蒸処理実施 7月20日(火)】

#### (2) 施設(備品)の維持管理

館内施設(備品)を適切な状態に保つよう務めた。

#### (3) 施設の利用許可対応

9月8日(水)、15日(水)、16日(木)、10月14日(木)、15日(金)、19日(火)、20日(水)、22日(金)、23日(土)、24日(日)、26日(火)、27日(水)、29日(金)、30日(土)、31日(日)

シルバー人材センター 選挙公報配布業務の説明及び打合せ会 【利用者数:計233名】

11月13日(土) 泉佐野市教育委員会文化財保護課「郷土の歴史文化遺産探求講座」 【利用者数:4名】

11月24日(水) 泉佐野市教育委員会文化財保護課「観光ボランティア養成講座」 【利用者数:27名】

12月18日(土) 泉佐野観光ボランティア協会「観光ボランティア養成講座 泉佐野の歴史的観光資源～」 【利用者数:19名】

12月21日(火) 泉佐野市教育委員会文化財保護課「日根荘ガイド養成講座 日根荘の信仰～寺社と祠～」 【利用者数:24名】

1月26日(水) 泉佐野市教育委員会 GIGAスクールサポーター定例会 【利用者数:10名】

2月8日(火) 泉佐野市教育委員会 泉佐野市小中学校校介助員事業説明会 【利用者数:30名】

2月16日(水) 泉佐野市教育委員会文化財保護課 「日根荘ガイド養成講座 日根荘の信仰～寺社と祠～」

【利用者数：40名】

#### (4) 市との意見交換の実施

管理運営に関する協議や意見交換を定期的に行いました。

#### (5) 館員の研修

人権研修を実施した。障がい者に配慮した対応の研修を実施した。

#### (6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みて、各事業の内容・回数・実施方法を検討し、開催した。講座については、定員を抑えるため、同一内容を2回実施した。また、館内消毒を心がけると共に、来館者に向けて手指消毒の呼びかけや検温等も継続して行った。

### 7. 書籍の販売協力

泉佐野市刊行の常設展、特別展の図録等の書籍販売に協力した。

### 8. 利用者数一覧表

(令和3年度)

区 分	入館者数(名)	館外自主事業 利用者(名)	講師依頼による 利用者(名)	合 計	備 考
常設展	1,490	319	17	1,826	112日間
割合(%)	33	54	100	35	
春季企画展	394	0	0	394	29日間
割合(%)	9	0	0	8	
秋季特別展	1,331	128	0	1,459	54日間
割合(%)	29	21	0	28	
冬季企画展	1,305	118	0	1,423	55日間
割合(%)	29	20	0	28	
臨時休館	0	30	0	30	48日間
割合(%)	0	5	0	1	
合 計	4,520	595	17	5,132	開館250日間
割合(%)	100	100	100	100	臨時休館 48日間

(令和3年度より開館日の変更：祝日開館、毎月月末木曜日休館)

令和2年度実績	4,097	431	6	4,534	246日間
令和元年度実績	11,699	1,363	130	13,192	288日間
平成30年度実績	10,781	1,229	217	12,297	295日間

令和3年度臨時休館 4月25日(日)～6月20日(日) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため



## Ⅶ. 日本民家集落博物館事業

### 1. 展示公開事業

一般府民への普及啓発と博物館の研究成果を公開するため、特別展又は企画展を開催した。また、古民家を一般府民に開放し、市民展示を開催した。

4月25日（日）～6月20日（日）の57日間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館とした。

#### (1) 常設展示

国指定重要文化財3件、国指定重要有形民俗文化財1件、国登録文化財3件、大阪府指定有形文化財4件、大阪府指定有形民俗文化財1件を展示公開した。「むかしのくらし展示」では民具を展示すると共に昭和30年代の一部屋を再現し、公開した。石臼体験コーナーを併設した。

#### (2) 市民展示

地域の文化サークルや団体向けに日向椎葉の民家を開放し、ギャラリーとして活用することにより地域に開かれた博物館を目指した。

##### ①市野章子日本画色紙作品展

ア. 内 容 市野章子氏による、初夏の風物を描いた日本画色紙展。

イ. 開催期間 6月22日（火）～7月18日（日）

##### ② ハンドメイド作品展「民家集落の美しい竹林から」

ア. 内 容 竹林キーパー有志の皆さんによる竹細工の作品展。

イ. 開催期間 7月24日（土）～8月31日（火）

##### ③「第27回游心会展」

ア. 内 容 游心会会員による、石川啄木の詩をテーマとした書道作品展。

イ. 開催期間 10月26日（火）～10月31日（日）

##### ④西野誠一切り絵展「山登りの思い出」

ア. 内 容 西野誠一による、日本各地の山の風景をテーマにした切り絵作品展。

イ. 開催期間 11月3日（水・祝）～12月5日（日）

##### ⑤写真展「みんかの花々」

ア. 内 容 博物館スタッフによる、館内の民家と花の風景の写真展。

イ. 開催期間 12月11日（土）～12月26日（日）

##### ⑥市野章子日本画色紙作品展「一冬から初春」

ア. 内 容 市野章子氏による、冬から初春の風物を描いた日本画色紙展。

イ. 開催期間 令和4年1月5日（水）～1月30日（日）

##### ⑦ボランティア作品展

ア. 内 容 博物館ボランティアによる、絵画、ちりめん細工小物等の作品展。

イ. 開催期間 令和4年3月5日（土）～3月27日（日）

### (3) 企画展「みんかちゃんのかいこ日記」

ア. 内 容 飛騨白川の民家で昭和初期まで行われていた養蚕にちなみ、博物館スタッフが夏季に蚕を飼育した際の観察記録と繭から採取した真綿等を紹介した。

イ. 開催期間 9月4日(土)～10月24日(日)

### (4) 特別展「奄美大島の高倉修復工事写真展」

ア. 内 容 令和2年度の秋に行った高倉の屋根葺工事の写真と共に、日本の民家の屋根葺き技術を紹介した。

イ. 開催期間 令和4年2月5日(土)～2月27日(日)

## 2. 講演会解説事業

### (1) 民家解説

展示民家について、ボランティアによる解説を行った。

### (2) 北河内の茶室特別公開

ア. 内 容 普段は見学できない茶室内部を、ボランティアやスタッフにより公開した。

イ. 開催日 4月、9月～12月の第1・第3土曜日、7月の第1土曜日、  
令和4年1月～3月の第3土曜日

【120名】

### (3) 白川の民家2階特別公開

ア. 内 容 普段は見学できない白川の民家2階を、ボランティアやスタッフにより公開した。

イ. 開催日 4月、9～11月、令和4年3月の第1・第3日曜日

【615名】

### (4) 信濃秋山の民家保存修理工事見学会

ア. 内 容 信濃秋山の民家で施工する保存修理工事において、屋根葺き作業を間近で見学できる見学用足場を設置し、一般来館者を対象とする現地見学会を行った。

イ. 開催日 7月25日(日)

【39名】

## 3. 体験学習・学校教育連携事業

### (1) 夏休み親子企画「昔の暮らしについて学ぼう」

#### ①白川郷の2階をのぞいてみよう

ア. 内 容 小学生の親子を対象に白川の民家の屋根裏を公開し、解説を行った。

イ. 開催日 7月3日～8月29日の毎土・日曜日

【125名】

#### ②なぞり書きと民家のぬり絵

ア. 内 容 小学生の親子を対象に民家の縁側で、「奥の細道」や童謡などのなぞり書き体験や、民家と昔の暮らしを描いたイラストのぬり絵体験を行った。なお、持ち帰る児童にも対応した。

イ. 開催日 7月3日(土)～8月29日(日)

#### ③まゆから真綿づくり体験

ア. 内 容 白川の民家で小学生の親子を対象に、博物館でとれた蚕のまゆから真綿作り体験を行った。

イ. 開催日 8月21日(土)

【9名】

#### ④竹細工づくり体験

ア. 内 容 小学生の親子を対象に、博物館の竹林に生えている竹から竹細工を作る体験を行った。

イ. 開 催 日 8月1日(日) 【17名】

(2) 季節行事

日本の四季折々の歳時記にちなんだ催しを行った。

行 事 名	開催期間	開催場所	備 考
お盆飾り	8月12日(木)～ 8月15日(日)	日向椎葉の民家	
正月飾り	1月5日(水)～ 1月10日(月・祝)	館内各民家	
七草がゆを 食べてみよう	1月5日(水)～ 1月6日(木)	事務所受付	七草がゆ進呈
節分の日を 楽しもう	2月2日(水)～ 2月3日(木)	事務所受付	豆小袋進呈
桃の節句・雛飾り	2月11日(金・祝)～ 3月13日(日)	越前敦賀の民家	3月2日(水)・3日(木) 雛あられ進呈

(3) 囲炉裏体験

展示民家において、ボランティアによる囲炉裏体験を行った。

(4) 参加体験型事業

入館者の参加・体験型の催しを行った。

体験教室名	開催期間	開催場所	対応者
はたおり体験	10月15日(金) ～10月17日(日)	南部の曲家	SAORI 豊崎長屋
コマ遊び	4月～7月3日、9月～ 12月4日、2月19日～3月 の各土曜日24回実施	日向椎葉の民家前	ボランティア
紙芝居	4月10日、6月26日、 9月11日、10月～3月の 第1・第3土曜日15回	日向椎葉の民家	博物館スタッフ
竹細工づくり体験	10月16日(土)	日向椎葉の民家前	ボランティア
アジアの布に さわってみよう	10月3日(日)、10日(日)、 16日(土)、24日(日)	日向椎葉の民家	博物館スタッフ
博物館スタッフと巡る 写真映えスポット	2月27日(日)	館内	博物館スタッフ

(5) 伝統文化体験教室

「こども囲碁クラブ」を通年開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、参加人数を例年の半数以下に抑え、屋外で活動した。

4月3日、4月10日、6月26日、7月の毎土曜日、10月～11月の毎土曜日(1週目を除く)、令和4年3月12日、3月19日のみ実施 【350名】

## (6) 校外学習の受け入れ・体験学習

学校団体を中心に、校外学習を積極的に受け入れ、体験学習も実施した。特に小学3・4年においては、小学3年生社会科「昔の暮らし」・4年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具の見学を通して、昔の人々の暮らしぶりについて学習する機会を提供した。

### ・小学校

(大阪市) 大阪北視覚支援、舍利寺、開平、長居、西九条、(豊中市) 新田、西丘、上野、桜井谷、東泉ヶ丘、東丘、野畑、豊島(2回)、南桜塚、中豊島、庄内西、熊野田、桜塚、泉丘、北丘、寺内、小曾根、北条、東泉丘、豊島北、南丘、緑地、(吹田市) 千里第三、(神戸市) 関西国際学園

【29校30件2,674名】

### ・中学校

(豊中市) 履正社学園豊中(2回)

【1校2件93名】

### ・高等学校

(神戸市) 灘高等学校、(大阪市) だいせん聴覚高等支援学校

【2校2件226名】

### ・その他学校団体等

(吹田市) 大阪アニメーションカレッジ専門学校、(豊中市) 中央工学校 OSAKA(2回)、

(大阪市) 修成建設専門学校、大阪工業大学、(和泉市) 桃山学院大学、

(池田市) 天神保育園、住吉保育園

【7校8件478名】

【合計42件・3,471名】

## 4. 資料収集・提供事業

### (1) 資料収集・研究

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集すると共に、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集・研究を行った。

### (2) 展示民家を提供・活用

日向椎葉の民家を活用した「ウクレレコンサート」は、4月4日(日)に開催することができたが、センチリーユースオーケストラの木管アンサンブルコンサートは、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に緊急事態宣言発令のため、中止となった。「大和十津川の民家」「南部の曲家」「北河内の茶室」は貸部屋として提供し、民家により親んでもらうための活用を図った。また、時代劇ドラマ、歴史番組の映像撮影の舞台として、民家等を提供し、活用を図った。全国ネット放送の番組等で、生活感溢れる民家の姿を視聴者に見ていただき、また、様々な映像作品の製作に資することができた。 【貸部屋件数38件】

#### ①朝日放送「おはよう朝日です」

ア. 内 容 報道番組中で、時代劇ドラマ「仁」のパロディー仕立ての映像により、便利な家電商品を紹介するコーナーの再現フィルム撮影が行われた。

イ. 実施日 11月1日(月)

ウ. 場 所 日向椎葉の民家

#### ②テレビ大阪「お墓から見たニッポン season5」

ア. 内 容 古代から近世までの日本人の墓の型式を紹介する番組。木曾義仲や新選組等、歴史上の偉人のエピソードの再現シーンの舞台として撮影された。

イ. 実施日 12月28日(火)

ウ. 場所 日向椎葉の民家、大和十津川の民家

### ③NHK BSプレミアム「大岡越前6」

ア. 内容 時代劇ドラマに登場する庄屋屋敷として日向椎葉の民家が撮影された。

イ. 実施日 1月21日(金)

ウ. 場所 日向椎葉の民家

### (3) 関係書籍・博物館記念物品の頒布

展示資料の理解を深めるため、関係書籍等を頒布した。また、博物館を身近に感じてもらうために博物館記念物品を希望者に頒布した。

## 5. 人材育成事業

### (1) ボランティア活動の促進

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期すると共に、地域社会に生涯学習の場を提供した。「麦の脱穀体験」、「正月飾り作り体験」などの機会を設けてボランティアとのコミュニケーションを深め、活動の促進をはかった。 【登録者 65名】

### (2) 大学博物館実習

大学の博物館実習生を受け入れ、学習の場を提供し、館の普及活動の一助とした。

都留文科大学、大阪成蹊大学、奈良女子大学、関西大学

【受け入れ5名】

### (3) 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所研修

地方公共団体等の文化財担当職員の資質向上を目的とする研修を受け入れた。

建築遺構調査課程

【受け入れ9名】

## 6. 文化財普及・広報事業

### (1) 特別行事

#### ①「みんかむかしのあそび体験」

ア. 内容 服部緑地10月祭への協賛事業として、ワークショップ、パンや点心のテイクアウト出店を行った。博物館ボランティア連携。

イ. 実施日 10月16日(土)

【206名】

#### ②「秋の敬老フェア」

ア. 内容 敬老の日にあわせ、65歳以上の入館料を割引し、博物館の魅力発信に努めた。

イ. 実施日 9月18日(土)～20日(月祝)

【66名】

### (2) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を半期毎に作成する予定を新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応し、臨機応変にイベント予定を調整するため、2ヶ月毎の作成とし、小学校・関係者に配布し広報に努めた。下半期以降は、半年単位の催し案内も併せて作成し、北摂の図書館・公民館等の施設にも配布を行った。

項 目	発 行 月	部 数
催し案内（2ヵ月毎）	4月、7月、9月、11月、令和4年1月、3月	計14,000部
催し案内（下半期）	11月	計1,800部

### （3）インターネットによる広報

当館の概要や催し案内をホームページやフェイスブックで広報した。特に、フェイスブックについては毎日更新し、イベント、コスプレ来館者、民家クイズ、民家の紹介、季節の花々の画像等、多様なジャンルの画像を掲載し、PRの充実に努めた。

### （4）動画の配信

展示民家の特徴・価値を解説する動画を制作し、当館ホームページやYouTubeに公開配信し、当館の存在とその魅力を広く発信した。

「民家の案内 飛騨白川の民家」解説動画

「民家の案内 河内布施の長屋門」解説動画

「民家の案内 摂津能勢の民家」解説動画

「民家の案内 北河内の茶室」解説動画

【4件】

### （5）小学校等への広報

小学校への個別訪問や先生への来館案内等を通じて、校外学習・体験学習等、博物館活動の案内をした。

【65件】

### （6）諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ、FMラジオ、ミニコミ紙、阪急電鉄、北大阪急行電鉄、服部緑地公園管理事務所、都市緑化植物園、服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会等と連携し、効果的な広報に努めた。また、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報の協力を依頼した。NPO法人シニア自然大学校と連携し、ジュニア自然大学「服部緑地こどもゆめくらぶ」の活動に協力し、博物館の利用促進を図った。

### （7）資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗」（上・下巻）を頒布した。

【民家の案内129冊、民俗7冊】

また、小中学生向け案内マップ及び英語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップの他、イタリア語案内マップを新たに作成し、配付した。

## 7. 保存修理・施設整備事業

### （1）国重要文化財 旧山田家住宅（信濃秋山の民家）保存修理工事

経年劣化が進行している秋山の民家について、屋根全面葺替及び部分修理の保存修理工事を実施した。屋根葺替工事、茅壁葺替工事、大棟の一部取替工事、土間補修工事等を施工し、完了した。令和2年度からの2か年度事業であり、文化庁の補助金を受けて実施した。

### （2）施設整備

展示民家の維持保存に悪影響を及ぼす樹木の伐採、見学者の安全に配慮した園路・階段などの整備を行った。事務所棟裏、信濃秋山の民家横、南部の曲家裏等の枯れ松の伐採作業を行った。

### （3）新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みて、各事業の内容・回数・実施方法を検討し、開催した。  
また、館内消毒を心がけると共に、来館者に向けて手指消毒の呼びかけや検温等も継続して行った。

(4) 竹林キーパーの活動

ア. 内 容 館内の竹林の伐採、整備活動を専門に行うボランティアが活動を行った。

イ. 活 動 日 7月以降の毎月第1・第3水曜（8月・令和4年1月は月1回）

【計16回】

8. 入館者数及び入館料収入一覧表

(令和3年度)

月	入館者数 (名)	入館料収入 (税込・円)	施設利用料収入 (税込・円)	開館日数 (日)
4月	1,521	521,500	84,000	21
5月	0	0	0	0
6月	497	163,300	0	8
7月	989	296,050	0	27
8月	622	190,700	0	26
9月	1,284	440,500	10,000	26
10月	2,774	775,500	42,000	27
11月	3,229	972,650	90,000	25
12月	1,054	350,900	45,000	23
1月	1,164	353,850	126,000	23
2月	1,546	483,700	16,000	24
3月	2,954	914,000	42,000	27
合 計	17,634	5,462,650	455,000	257

<年度比較>

	入館者数 (名)	入館料収入 (税込・円)	施設利用料収入 (税込・円)	開館日数 (日)
令和2年度	20,370	6,759,700	402,000	269
令和元年度	30,453	8,603,850	1,041,000	304
平成30年度	33,427	8,958,150	1,249,000	300

※臨時休館 4月25日(水)～6月20日(水)の57日間(うち通常休館日8日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため